取扱説明書

保証書・据付説明書別添付

日立電気洗濯乾燥機

型式 BW-D9GV

このたびは日立電気洗濯乾燥機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書・据付説明書・洗濯乾燥機設置時のチェックシート（据付確認書）とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」→ P.6～8 をお読みいただき、正しくお使いください。

ビートウォッシュ
湯効利用
日立洗濯乾燥機

はじめに

湯効利用

- 「洗乾お湯取ポンプ」で、洗濯から乾燥まで風呂水を使用できます。
- 1回目のすすぎに「お湯取」を設定すると、風呂水をむだなくたっぷり使ってすすぎます。
- 2回目のすすぎまで「お湯取」を設定した場合は、最後に水道水ですっきり仕上げます。

洗いだけ風呂水を使用した場合は…

節水型のため、風呂水の使用量が少なくなっています。洗いだけの場合は、ポリタンク1個程度(約16L)です。

入浴剤入りの風呂水をご使用になるときは、入浴剤の説明書に従ってお使いください。

洗濯物の量が少ないとき(2kg以下)など、風呂水吸水しない場合があります。

全ての行程で風呂水を使用する場合でも、水栓は開けたままにしてください。

洗濯、洗濯～乾燥運転時に、お湯取ができます。乾燥運転のみの場合、お湯取はできません。

節水ホットビート洗浄

- 高濃度洗剤液を衣類に振りかけたあと、温風を吹きかけて洗剤を活性化させて、「ビートウィング」で衣類をきめ細かく上下に動かし、手洗い効果でより高い洗浄力を発揮する「ホット高洗浄」。

洗剤投入後、洗浄効果を十分に引き出すためにすばやく溶かし、約10倍の高濃度洗剤液を作ります。

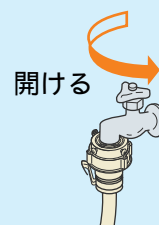
ビートウィング

洗剤は洗剤投入口に入れてください。溶け残りの原因になります。投入方法は →P.18、20

ホット高洗浄については →P.48

節水型のため、水量が少ないので、糸くずなどの固形物の付着が気になることがあります。「ためすすぎ」や「ため洗い」コースをご使用ください。

水冷除湿乾燥

- 乾燥時に衣類から出る湿気を水で冷やし、水分に変えて排出する「水冷除湿式」だから、スピーディーに、快適に乾燥。室内の温度上昇や湿気、結露・カビを抑えます。

乾燥でも水道水を使います。水栓を開けて運転してください。

途中でふたを開けたいときは…

- 安全のために、洗濯中や乾燥中はふたがロックされます。解除方法は以下の通りです。

洗濯時	乾燥時
スタート一時停止 を押す	切 を押し、約5秒後 入 を押す
ふたロックが解除されます。	洗濯・脱水槽内が高温のため3～15分の冷却運転後に、ふたロックが解除されます。

もくじ

ご使用の前に

使いかた

お手入れ・アフターサービス

乾燥のたびに乾燥フィルター(2種類)をお手入れしてください。乾燥効率の低下を防ぎます。 ➔ P.54

乾燥運転中は内部が熱いので、ふたは冷めるまで開きません。

冷却運転終了後も、ふた周辺や衣類(ファスナーや金属ボタン）が高温になっている場合がありますので、やけどに十分注意してください。

各部のなまえ・付属品・操作パネル

■ ➔ のあとの数字は
主な説明のあるページです。

電源コード

アース線

洗剤ケース ➔P.52

ソフト仕上剤
投入口

洗剤
投入口

注水口

洗濯・脱水槽

バランスリング

ビートウィング(かくはん翼)

ホース掛け(穴)
(お湯取ホース掛け
取付兼用穴) ➔P.13

水準器 ➔据付説明書

ふたロック ➔P.47

電源ボタン

調節脚 ➔据付説明書

(前右側の脚の高さを調節できます。)

排水ホース

糸くずフィルター
➔P.50、51

アンダートレイ ➔据付説明書

操作パネルの働き

洗剤量目安表示 ➔P.18

洗剤量はコンパクト(濃縮)粉末洗剤「アタック」を基準にしています。

残時間・予約時間表示

運転スタート後に残時間の目安を表示します。
予約ボタンを押すごとに、予約設定時間が表示されます。
スタート後は「予約」のみが点灯します。 ➔P.40

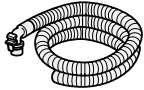
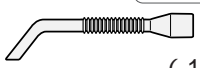
風呂水を使う ➔P.23

「お湯取」ボタンを押すと、風呂水を利用する行程が順に点灯します。

●風呂水を利用しないときは、ボタンを押してランプをすべて消してください。
●前回選んだ内容を記憶します。
●設定できないコースもあります。

運転内容を変える ➔P.42〜45

「洗い」「すすぎ」「脱水」「乾燥」の内容や組合せを切り替えます。

●スタート後は、「一時停止」を押して変更します。「洗い」が終わると変更できません。
●内容を変更できないコースもあります。

コースを選ぶ ➔P.25、27、49

「洗濯」「洗▸乾」「乾燥」ボタンを押すと、選べるコースが順に点灯します。

●「洗濯」「洗▸乾」「乾燥」によって、選べるコースは異なります。

スタート／一時停止

運転のスタートや、一時停止を行います。

●乾燥中に「一時停止」を押しても、洗濯・脱水槽内が冷えるまでふたは開きません。➔P.2

付属品（「据付説明書」を参照ください。）

■電源を入れたあと3秒押し操作で設定が変わるボタン

ボタン	内容
乾燥	ふんわりガード機能を取り消せます。→P.48
洗・乾	メロディ（ブザー）音が変えられます。→P.46
スタート 一時停止	終了予告音を消すことができます。→P.46
洗濯	からまん脱水の「ほぐし」行程を解除できます。（設定「h」、解除「－」で表示します）→P.47
予約	温度センサー制御の設定、解除ができます。→P.46
すすぎ	自動槽クリーニング機能の設定、解除ができます。→P.47

予約をする →P.40

何時間後に運転を終了させるか、12時間後まで1時間単位で予約できます。

●予約設定できないコースもあります。
●「乾燥」運転はいずれも予約できません。

ホット高洗浄を使う →P.48

「ホット高洗浄」ボタンを押すと、衣類に温風を吹きかけ、洗剤を活性化させて洗います。

●設定できないコースもあります。

乾き具合を調整する →P.46

乾燥運転終了時の洗濯物の乾き具合を調整できます。

糸くずフィルター取り外しボタン

糸くずフィルターを取り外すときに使用します。→P.50

電　源

電源の入・切を行います。

●運転が終了するとメロディ（ブザー）が鳴って、自動的に電源は切れます。→P.46
●スタートさせずに10分間放置すると自動的に切れます。
●電源を切ったあと、約5秒間はボタン操作を受け付けません。再度電源を入れたいときは、コースランプ消灯後、電源ボタンを押してください。

安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告 この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

 注意 この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

 「警告や注意を促す」内容のものです。

 してはいけない「禁止」内容のものです。

 実行していただく「指示」内容のものです。

警告

●火災・感電・けがの原因になります。

電源プラグや電源コードは

- ●定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
- ●電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく
- ●お手入れの際や長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く
- ●電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く

- ●ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
- ●傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない
- ●電源コードを傷つけない
  （傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ ねじり・重いものを載せる・はさみ込むなどしない）

アース線は

●アース線は取り付ける

アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。
アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。

そのほか

- ●動かなくなったり、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する

- ●分解したり、修理・改造しない
- ●お手入れするときなどは、本体各部に直接水をかけない
- ●お湯取ホースで灯油、ガソリンなど水以外のものを吸い込まない
  爆発や火災の原因になります。
- ●入浴中は風呂水吸水をしない

⚠ 警告

洗濯物や洗剤は

●食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、ベンジンやシンナー、ガソリン、美容オイル、軟膏剤などの付着した衣類、くつ(スニーカー)、帽子などは洗濯後でも乾燥しない。
また、スポンジの入ったものも乾燥しない

油などの酸化熱による自然発火や引火の恐れがあります。

●洗剤を入れすぎない

洗剤は規定量を守ってご使用ください。泡が大量に発生して本体が故障し、水漏れや感電をする恐れがあります。

運転中、運転後は

●洗濯・脱水槽が完全に止まるまでは、中の洗濯物などに手などを触れない

ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついて大けがをする恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。

据え付けのときは

●浴室など湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない

本体の近くには

●引火物は洗濯・脱水槽に入れない、近づけない
（灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールやそれらの付着した洗濯物）

●ローソク、蚊取り線香、たばこなどの火気を近づけない

●操作パネル部付近には、磁石などの磁気を帯びたものを近付けない

●幼児に洗濯・脱水槽の中をのぞかせない。
また、本体の近くに台を置かない

安全上のご注意(続き)

⚠注意

●水漏れ・けがの原因になります。

洗濯物は

●防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど固くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すすぎ・脱水・乾燥をしない

洗濯物が傷んだり、脱水中に異常運転して、けがをする恐れがあります。

例えば
釣具ウェア、スキーウェア、雨ガッパ、寝袋、サウナスーツ、ウェットスーツ、ウィンドブレーカー、おむつカバー、自転車・バイク・自動車カバー、防水性マット・シート、足ふきマットなど固くて厚いものなど

運転前後、運転中は

●洗濯・乾燥前は水栓を開いて、水漏れがないか確認する

●使用しないときは、水栓を閉じておく

●据え付け直後や移設直後など、水栓接続を変えたあとには、まず水栓を開いて、水漏れがないか確認する

●ロックされた状態のふたを無理に開けない

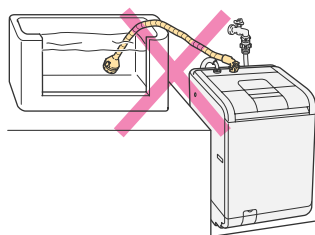
●運転中は本体の下に手足などを入れない

●乾燥中や終了後は、ふた周辺や金属部、衣類(ファスナーや金属ボタン)には触らない

風呂水を使うときは

●浴槽の水面より風呂水吸水口が低くなる場所では使用しない

●お湯取ホースのクリーンフィルターを浴槽に入れたまま吸水つぎてを外さない

サイホン現象により、ポンプ運転が終了しても水が出っ放しになります。

そのほか

●給湯機からの温水は使用しない

●内ふたを閉めるときに衣類をはさまない

●本体の上にのぼったり、重いものを載せたりしない

●50℃以上のお湯は使用しない

●キャスターの付いている台や、不安定な場所に据え付けない

●ふたなどのプラスチック部品や、本体に(特に液体洗剤)がついた場合は、湿った柔らかい布ですぐに拭きとる

使用上のご注意

■運転中は電源プラグを抜かない

●故障の原因になりますので、一時停止あるいは電源を「切」にしてから、プラグを抜いてください。

■テレビやラジオを近づけない

●テレビに線が入ったり、ラジオ・テレビの雑音の原因になります。

■操作パネル付近に磁石、磁気カード（キャッシュカードなど）を近づけない

●誤動作やカードが使えなくなることがあります。

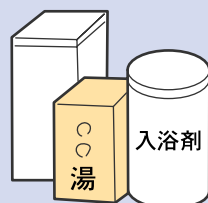
■断水後や一度給水ホースを外して再取り付けした場合は、水栓を閉めてスタートボタンを押し、洗剤量が表示されてからゆっくり水栓を開く
(長期間使用しなかった場合も同様)

●給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧により、本体が破損し、水漏れやけがをする恐れがあります。

■洗濯物は入れ過ぎない

●衣類が洗濯・脱水槽からはみ出して破れたり、プラスチック部品の破損の原因になります。
●洗濯時間が長くなったり、洗濯ムラや乾燥ムラになることがあります。

■入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の注意書きに従う

●色移りや変色などを防ぐためです。

■結露に注意

●夏季など湿度が高いとき、冷水などの使用で本体の外側が結露し、床面をぬらすことがあります。
●この場合は、防水パン、洗濯機用トレー(YT-1)の使用をおすすめします。→P.67

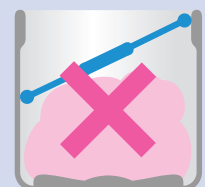
■内ふたを閉める際は、トッテの「押す」部を「カチッ」と音がするまで押す

●内ふたを確実に閉めないと水漏れや故障の原因になります。
●内ふたが破損したり、取れたままでは運転しないでください。

■乾燥中の換気は十分に

●衣類を効率よく乾燥させるために換気を十分にしてください。
●換気が不十分な場合は、窓や壁などが結露する場合があります。

■お洗濯キャップ(別売り)は斜めに取り付けない。また、洗濯の「毛布」「ドライ」コース以外では使用しない

●お洗濯キャップの飛び出しによりけがをしたり、本体が破損する恐れがあります。

お洗濯の手順

24ページ 洗濯をする　洗濯

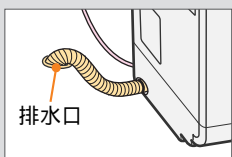
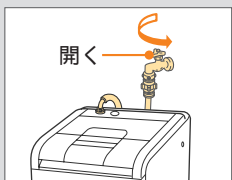
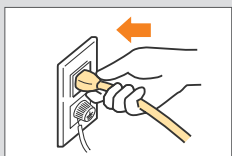
24ページ 洗濯～乾燥をする　洗‣乾

26ページ 乾燥をする　乾燥

準備をする

本体

→P.12

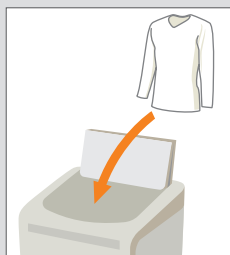
1 排水ホースをセット

2 水栓を**ゆっくり**開く

3 電源プラグをコンセントに差す

4 糸くずフィルター、乾燥フィルターが取り付いていることを確認する

5 風呂水を使うときはお湯取ホースを準備する →P.13

洗濯物

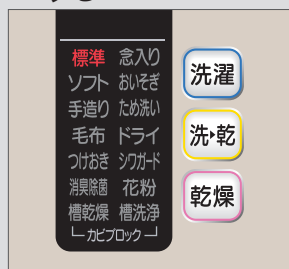
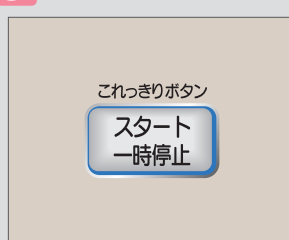
→P.14

1 洗濯物を仕分ける前処理する

2 洗濯・脱水槽に入れる

洗濯物にあったコースを設定する

→P.24、26

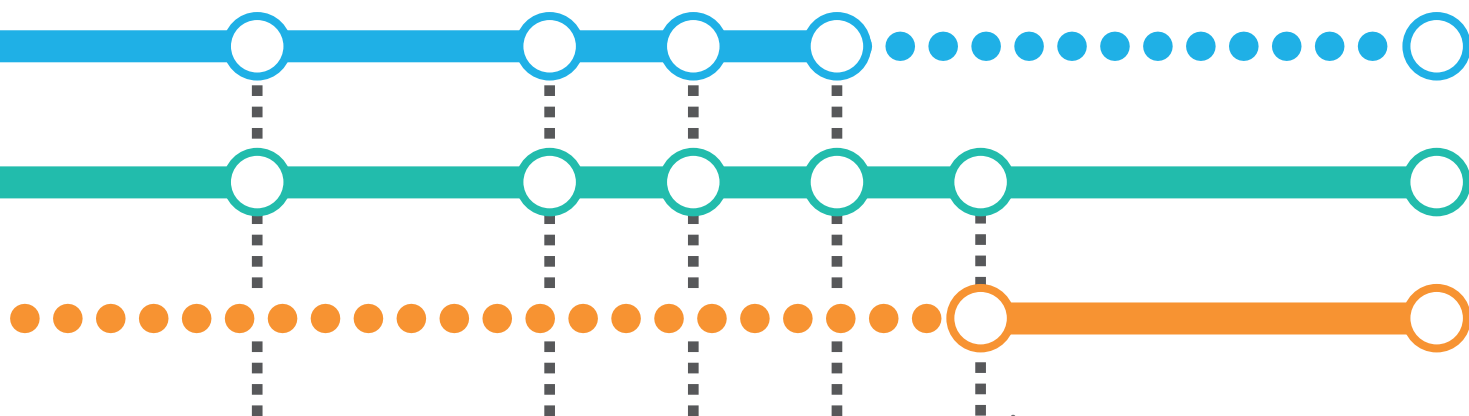
1 電源を入れる

2 コース・機能を設定する

3 運転をスタートする

洗濯物量をセンサーが計測する

計測中表示

水が入る前に約30秒かくはんして計測します

洗剤量を表示

残時間を表示

洗剤・ソフト仕上剤を入れる

→P.18～21

1 洗剤を入れる

2 漂白剤を入れる場合

3 ソフト仕上剤を入れる場合

4 洗剤ケースふた、ふたを閉める

設定内容を自動運転する

●洗剤を溶かす

●洗う

洗い

●すすぐ

注水ため

すすぎ

●脱水する

分 脱水

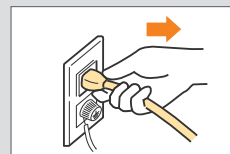
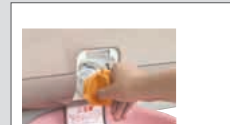
●乾燥する

30分 60分 90分 自動 乾燥

片づけやお手入れをする

→P.12

1 水栓を閉める

2 電源プラグを抜く

3 糸くずフィルターと乾燥フィルターのお手入れをする

糸くずフィルター →P.50

乾燥フィルターA →P.54

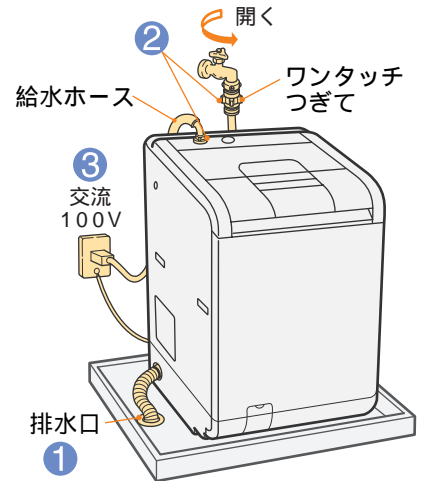
乾燥フィルターB →P.54

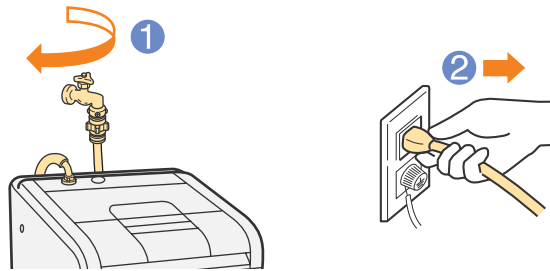
本体の準備をする

本体の準備と片づけ

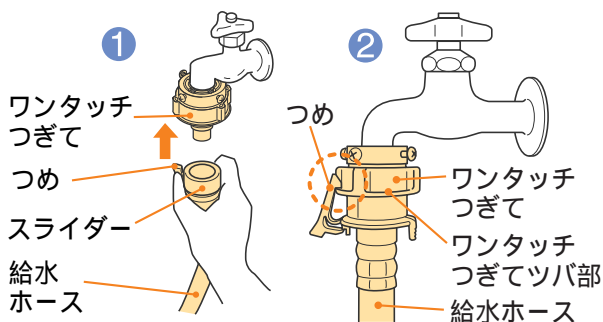
別冊「据付説明書」に従い、確実に設置してからご使用ください。

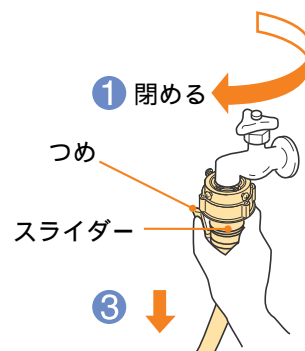
準　備

1. **排水ホースを排水口にしっかりと差し込む**
2. **給水ホースをつなぎ、水栓をゆっくりと開く**
   乾燥やお湯取を使用するときも、水道水を使いますので、水栓を開けてください。
3. **電源プラグをコンセントに差し込む**

片づけ

1. **水栓を閉める**
2. **電源プラグを抜く**

給水ホースの取り付けかた・外しかた

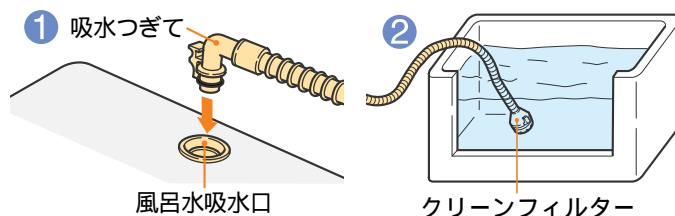
■取り付けかた

1. **スライダーを押し下げながら、ワンタッチつぎてに差し込む**
2. **スライダーを離して、「パチン」と音がするまで給水ホースを押し上げる**
   - ●給水ホースのつめが、ワンタッチつぎてのツバ部に確実に掛かっていることを確認してください。
   - ●給水ホースをひっぱり、抜けないことを確認してください。

■外しかた

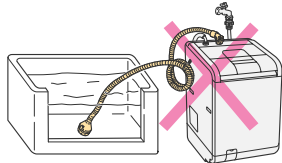
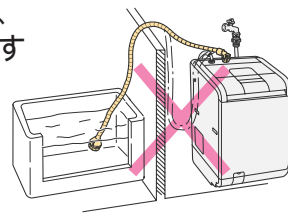
1. **水栓を閉める**
2. **洗濯の「標準」コースを選び、スタートボタンを押して約1分間運転する**
   - ●外すときの水の飛び散りを防ぐためです。
3. **つめを外し、スライダーを押し下げながら、給水ホースを外す**

お湯取ホースの準備と片づけ

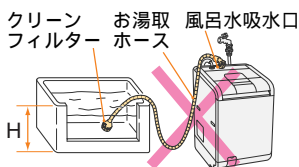
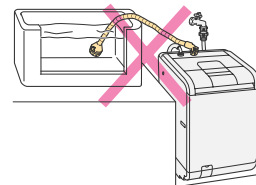
別冊「据付説明書」に従い、長さ調節したお湯取ホースをご使用ください。

準　備

1. **吸水つぎてを、風呂水吸水口にしっかりと差し込む**
2. **クリーンフィルターを風呂水に沈める**

ご注意 **■ホースを傷付けないでください。**
●浴室などのドアではさみ込まないでください。
●無理な力をかけないでください。
●金属部分とのこすれに注意してください。

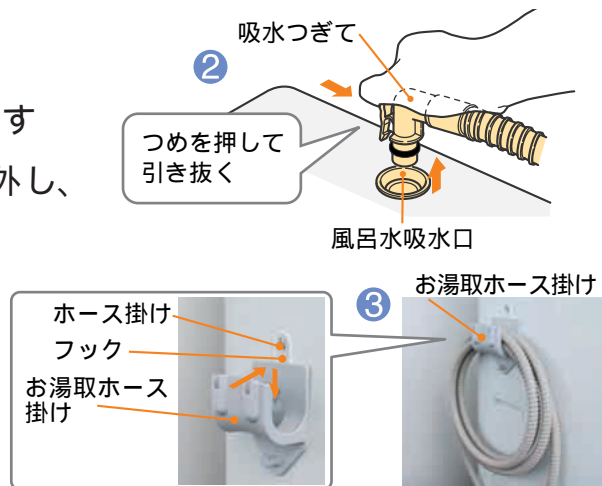
お湯取ホースセット時のご注意

余分なホースを巻いたまま使用しない
●ホースの抵抗が増え、風呂水吸水できない場合があります。

高い壁を越えるときは、ホースのたるみをなくす
●ホースにたるみがあると、ホースの抵抗が増え、風呂水吸水できない場合があります。

クリーンフィルターの浮き上がりに注意する
●浴槽の高さ(H)が80cm以上の場合は、垂れ下がったホースでクリーンフィルターが浮き上がりやすくなります。おもりなどで浮き上がらないようにしてください。

クリーンフィルター　お湯取ホース　風呂水吸水口　H

浴槽の水面より風呂水吸水口が低くなる場所では使用しない
●サイホン現象により、ポンプの運転が終わっても水が出っ放しになります。

●お買い上げになって初めてご使用になるときは、水道水による運転を行ってください。水道水での運転により、風呂水ポンプ内に呼び水吸水するためです。(呼び水とは、風呂水ポンプが吸い上げ運転をするために必要な一定量の水です)

片づけ

1. **浴槽からクリーンフィルターを取り出す**
2. **吸水つぎてを、風呂水吸水口から取り外し、ホースの中の水を抜く**
3. **ホース掛けにかける**

 ●吸水つぎてを本体から外さない状態でお湯取ホースを持ち上げると、ホース内の残水が洗濯・脱水槽に逆流して、衣類をぬらす恐れがあります。

洗濯物の準備をする

仕分けと確認

ご注意 ●取扱絵表示を確認してください。

次の物は洗濯も乾燥もできません

●皮革毛皮製品
皮革装飾品

●レーヨン、キュプラおよび
その混紡品

●ネクタイ、スーツ、コート
※「消臭除菌」コースは使用できます。
→ P.27

●絹の衣類

●装飾品(羽、毛皮など)の
ついた衣類

●和服、和装小物

●ウールなどで強くよじった糸
(強撚糸)を使用したもの
(特に織り柄)

●コーティング加工、樹脂加工、エンボス加工
をしたもの

●ベルベットなどのパイル地

●取扱絵表示、素材表示のないもの

●色落ちしやすいもの

●防水性製品 → P.8

●毛100%の毛布、ロングパイル(毛足10mm
以上)の毛布、カーペットカバー

●足ふきマット、玄関マットなど厚手の敷物

●マット類やペットの毛が付着した衣類・敷物
など

次の物は乾燥できません

●のり付けした衣類

●ゴム類やゴムなどを
コーティングした衣類

●スポンジの入ったもの
(ぬいぐるみなど)

●色の濃いプリントの衣類

●アイロン表示 低 で低温度の指定があるもの

●アイロン表示 ✕ でアイロンがけできないもの

●タンブラー乾燥はお避けくださいなどの表示
があるもの

●縮みやすい衣類 → P.27

●ふとん

洗濯物の重さの目安

ブリーフ
(木綿　約50g)

長袖
アンダーシャツ
(木綿　約150g)

バスタオル
(木綿　約300g)

くつ下
(木綿　約50g)

ブラウス
(混紡　約200g)

パジャマ
(上・下)
(木綿　約500g)

タオル
(木綿　約70g)

ワイシャツ
(混紡　約200g)

シーツ
(木綿　約500g)

前処理

糸くずが気になるものはネットに入れる

●起毛素材の衣類や濃い色の衣類、ストッキングなど、糸くずの付着が気になるときは、市販の糸くず防止用「洗濯ネット」に入れて洗ってください。

大きなゴミ、どろや砂、髪の毛、ペットの毛は取り除く

デリケートな衣類はネットに入れる

●レースのついた衣類やブラウス、ブラジャーなどは、傷付きを防ぐため、市販の「洗濯ネット」に入れて洗ってください。

色落ちしやすいものは分けて洗う

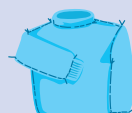
●色落ちしやすい衣類は「ため洗い」コースで運転してください。
●著しく色落ちする衣類は、単独で洗ってください。

ひもは結んで、ファスナーやボタンは閉める

●衣類やファスナーの傷みを防ぐためです。

衣類の異物は取り除く（ポケットの中も忘れずに）

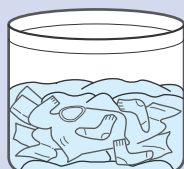
●衣類を傷めたり、故障の原因になります。

毛玉や糸くずが気になるものは裏返す

●タオル、バスタオルとは分けて洗ってください。

しみは早めに処理しておく

●しみは時間がたつと落ちにくくなりますので、お洗濯前に部分洗い洗剤などで処理をしておくとより効果的です。

洗濯・脱水槽への入れかた

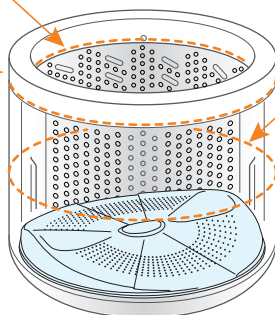
■洗濯物はできるだけ均一に入れる

■大物や水に浮きやすいものから先に入れる

●布の動きがよくなります。

■ジーンズなど厚手のものは均一によく押し込む

■洗濯物が極端に少ないとき(約1kg以下)

●洗濯物が極端に少ないときは乾きが足りなくなることがあります。乾いたタオルなどを一緒に入れると乾きむらが少なくなります。

ご注意 ●ジーンズなどの厚手の衣類だけをお洗濯すると、衣類の片寄りによって、安全スイッチが働きやすくなります。→ P.56

※衣類の目安は乾燥状態の衣類を押さえこむ前の状態です。

乾燥後の仕上がりを良くするポイント

衣類の種類によって、乾燥運転のコースを使い分けましょう。

■シワになりにくい普段の衣類

- ●トレーナー
- ●タオル類
- ●トレーニングウェア
- ●ブリーフなど

▶ **標準コース**

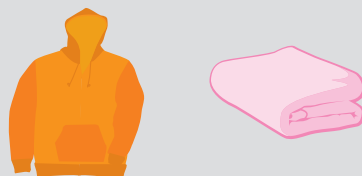
■シワになりやすい衣類

- ●綿シャツなどの長い形状の衣類（特に薄手の綿シャツ）
- ●シーツ類などの大物
- ●パジャマ、ハンカチ、Tシャツ
- ●ジーンズなどの硬く厚い衣類
- ●綿パンなど
- ●ブラウスなど

▶ **シワガードコース**

▶ **標準コース「30分」**

■乾きにくい厚手の衣類

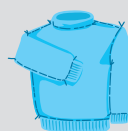
- ●厚手のトレーナー
- ●バスタオルなど

▶ **念入りコース**

ちょっとアドバイス

**●まとめて洗濯～乾燥をするときは、洗▶乾の「標準」コースで、乾燥の「30分」を選んで運転終了後、シワになりやすい衣類を取り出し、すぐに吊り干し乾燥してください。
残った衣類は、乾燥の「標準」コースで運転してください。**

衣類の毛玉や静電気を少なくするには

●毛玉の気になる衣類は、裏返しにしてください。

**●市販の静電気防止剤をご使用ください。
「洗▶乾」運転のときは、ソフト仕上剤をご使用ください。「乾燥」運転のときは、市販の静電気防止用シートをご使用ください。**

「洗▶乾」運転はソフト仕上剤で

「乾燥」運転は静電気防止用シートで

シワを少なくするには

●衣類には、乾燥でシワがつきやすいものがあります。これは、どのような乾燥機でも同じで、ある程度のシワは避けられませんが、本機の場合、従来の乾燥機に比べると衣類の種類や形状によっては、シワになりやすいものがあります。

●綿のワイシャツなど長い形状の衣類は、洗▸乾の標準コース「自動」で乾燥した場合、シワが多くなります。

洗▸乾の標準コース「自動」の仕上がり具合

シワガードコース

少し湿り気を残して乾燥を終了します。終了後はすぐに吊り干ししてください。

標準コース「30分」

洗濯後、約30分乾燥するので、そでなどの脱水ジワを抑えられます。終了後は、すぐに吊り干ししてください。

標準コース（2.0kg）

衣類の量を減らすとシワを少なくすることができます。

乾きムラを少なくするには

●厚手の衣類は乾きムラが発生することがあります。乾燥の「標準」コースでもう一度乾燥してください。
●乾き具合を「強め」に設定する。→ P.46
●衣類の量を少なめにしてください。
●厚手の衣類と、薄手の衣類は分けて乾燥してください。

乾燥の「標準」コースでもう一度

衣類の量を少なめに

分けて乾燥

衣類の縮みが気になるとき

サマーセーターや厚手のくつ下など、特に縮みやすい衣類は、次のことをお試しください。

●天日乾燥を併用してください。
（天日乾燥をした後仕上に乾燥を行う）

天日乾燥との併用がおすすめ

乾燥の「ドライ」コースで

洗濯量と洗剤量・ソフト仕上剤量について

洗濯量の検知と洗剤量表示

1 洗濯物を入れて希望のコースを設定し、「スタート」ボタンを押すと…

▼ **かくはん翼と洗濯・脱水槽が回転し、洗濯物の量をセンサーが計測する**

測定中表示

水が入る前に計測します

▼ **洗剤量を表示する**

ご注意

●シワガードコース、毛布コース、ドライコースについては、洗剤量が表示されません。➔P.24、P30、P34

約6秒後、運転時間(目安)に変わる

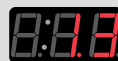
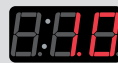
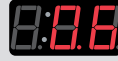
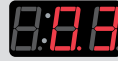
表示例：1時間30分

表示例：30分

2 右表を参考に洗剤、漂白剤を投入する

ご注意

●「洗剤UVカット」は泡立ちが良すぎるため、ご使用できません。

洗濯量(kg)(目安)	洗剤量目安表示
9	(1.3杯)
7	(1.0杯)
4	(0.6杯)
1	(0.3杯)

洗濯量について

●表の洗濯量はJIS(日本工業規格)で規定された布地を洗濯した場合のものです。
　洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって洗濯量が変わります。
　通常の衣類では洗濯量は表示の7～8割が適当です。
●「洗▶乾」「乾燥」運転での定格容量は7kg以下です。

洗濯量と洗剤量・ソフト仕上剤量

■節水形のため、洗剤量は布量を基準にしています。

合成洗剤					粉石けん(天然油脂)	ソフト仕上剤			漂白剤
コンパクトタイプ				中性洗剤					
粉末		液体				濃縮		普通	
水30Lあたり 20g	水30Lあたり 25g	水30Lあたり 20mL	水30Lあたり 25mL	水30Lあたり 40mL	水30Lあたり 36g	水30Lあたり 7mL	水30Lあたり 10mL	水30Lあたり 20mL	水30Lあたり 40mL
アタック トップ 部屋干しトップ ブルーダイヤ アリエール	アタック漂白剤IN ニュービーズ ボールド	液体アタック アリエール イオンパワージェル	液体ニュービーズ トップ浸透ジェル (柔軟剤入り)	エマール アクロン	そよ風	ハミング 1/3 ソフランC レノア	ハミングフレア しわスッキリ ソフランC デイフレッシュ ソフラン	ハミング ソフランS	手間なし ブライト ワイド ハイター
44g	55g	44 mL	55 mL	88mL	79g	15mL	22mL	44mL	88mL
37g	46g	37 mL	46 mL	74mL	67g	13mL	18mL	37mL	74mL
27g	34g	27 mL	34 mL	55mL	49g	9mL	14mL	27mL	55mL
17g	21g	17 mL	21 mL	34mL	31g	6mL	9mL	17mL	34mL

洗剤量について

メーカーにより洗剤の標準使用量(水30Lに対し○○g)が表示されていないものもあります。
洗剤容器にある「使用量の目安」を参考にしてください。

●水に溶けにくい洗剤は、溶かしてから入れてください。➔P.20

●タブレット、シート、キューブタイプの洗剤はよく溶かしてから使用してください。

●表内の**青文字**の洗剤はスプーンが大きいので、下表に従い量を減らしてください。

洗剤量目安表示	トップ、部屋干しトップボールド、ブルーダイヤ	アリエール
1.3杯	1.0杯	0.8杯
1.0杯	0.8杯	0.6杯
0.6杯	0.5杯	0.4杯
0.3杯	0.2杯	0.2杯

洗剤・漂白剤・ソフト仕上剤を使う

洗剤～ソフト仕上剤投入の流れ

「毛布」「ドライ」コースの場合は、スタート前に入れる ➔P.30、34

これっきりボタン スタート 一時停止 を押す

洗剤投入

粉末合成洗剤・液体洗剤

1 洗剤ケースふたを開ける

2 洗剤を入れる

石けん（天然油脂）

天然粉石けん、液体石けん、複合石けんなどは、よく溶かしてから直接洗濯・脱水槽内に入れる ➔P.22

よく溶かしてから洗濯・脱水槽へ

お願い

- ●洗剤を入れ過ぎないでください。(故障や水漏れ、感電の原因になります。)
- ●洗濯・乾燥が終わり、衣類を取り出したあとは、毎回乾燥フィルターを掃除してください。➔P.54
  (ほこりがついたままにすると、乾燥時間が長くなったり、故障の原因になります。)

ご注意

- ●洗剤ケースに固まっている洗剤を入れると、洗剤ケースに洗剤が残るときがありますので、砕いてから入れてください。
- ●液体洗剤は、洗剤残りを少なくするため、水でうすめて投入口から静かに流し込みます。
- ●給水中に洗剤を入れないと、洗剤ケースに洗剤が溶け残る場合があります。
- ●タブレット、シート、キューブタイプなどの洗剤をご使用になるときは、よく溶かしてから直接洗濯・脱水槽内に入れてください。
- ●洗剤の種類により、スプーン1杯の洗剤量が異なりますので、お使いの洗剤の箱に記載してある「使用量の目安」を参考にし、水量表示(L)に対して入れ過ぎにご注意ください。入れ過ぎると洗剤が異常発泡する恐れがあります。
  (故障したり、水漏れや感電をする恐れがあります。)

漂白剤投入　ソフト仕上剤投入

漂白剤

●洗剤を入れたあとに
水でうすめた液体漂白剤を入れる

■粉末漂白剤
直接洗濯・脱水槽に入れます。

ご注意
- ●使用量および使いかたについては、漂白剤の表示に従ってください。
- ●液体漂白剤は直接洗濯物にかけないでください。変色、布破れの原因になります。
- ●塩素系の漂白剤を洗濯・脱水槽に入れたまま、長時間放置しないでください。

ソフト仕上剤

1 ソフト仕上剤を入れる
〔濃縮タイプは2倍に薄めてください。(最大60mL以下)〕

2 洗剤ケースふたを閉める

ご注意
- ●「柔軟剤レノア」は薄めずに使用してください。固まってしまったり、衣類のしみの原因になる場合があります。

ご注意
- ●ソフト仕上剤投入口には洗剤を入れないでください。(故障の原因になります。)
- ●ソフト仕上剤を入れたまま長時間(12時間以上)放置しないでください。固まってしまう場合があります。
- ●ソフト仕上剤投入口に仕上剤がこびりつくことがあります。ケースを取り外して清掃してください。➔P.52
- ●ソフト仕上剤を入れ過ぎると、流れ出して、洗濯物に直接かかり変色する恐れがあります。
- ●洗剤ケースふたは、確実に閉めてください。(洗剤ケースふたが開いたままふたを無理に閉めようとすると、破損する恐れがあります。)
- ●内ふたや内ふたの周囲の金属部分にソフト仕上剤、液体洗剤、漂白剤が付いたときは、湿った布などで拭き取ってください。さびが発生することがあります。

石けんを使う

石けん(天然油脂)は、洗剤投入口に入れてはいけません。

石けんが溶けにくいとき

1 **バケツなどに30℃ぐらいのぬるま湯を約3L用意する**

2 **十分かき回しながら適正量の石けんを少しずつ入れる**

●石けんが固まったり、粉が残ったりしないよう、十分溶かす。

3 **洗濯物を入れ、溶かした石けん液を洗濯・脱水槽に入れる**

4 **電源を入れてお好みのコースを選び運転する**

●あらかじめ水が入っていますので、水量が多めになります。

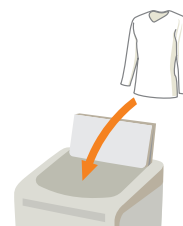
洗濯・脱水槽で直接溶かすとき

1 **電源を入れ、洗濯の「ため洗い」コースを選び、「洗い」のみを設定し、スタートボタンを押す**
「洗い」のみの設定のしかた → P.38

洗い
3～6分

2 **給水後、かくはんが始まったら一時停止を押し、石けんを入れてから、再びスタートボタンを押す**

3 **運転終了後、洗濯物を入れる**

●洗濯物を十分、洗濯液に浸します。

4 **再度電源を入れ、お好みのコースを選びスタートボタンを押す**

●あらかじめ水が入っていますので、水量が多めになります。

ご注意

●石けんは合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすいので、すすぎを十分に行ってください。
すすぎが十分でないと黄ばみや、においの原因になったり、乾燥後に変色したりすることがあります。
●使用量が多すぎたり、低温の水に直接入れると、完全に溶けない石けん分がホースや洗濯・脱水槽の内側に付着し、浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。
●石けんを使うとき、合成洗剤を約1割混ぜると、石けんかす（金属石けん）の発生を抑えることができます。
●石けんは石けんかすが発生しやすいため、1ヶ月に一度を目安に洗濯槽クリーナー → P.67 を使い、「槽洗浄(11時間)」コースでのお手入れをしてください。→ P.49
●合成洗剤のみの場合は、「洗濯・脱水槽で直接溶かすとき」に記載の方法で運転しないでください。
泡による弊害が起こる場合があります。

次の場合は石けんを使用しないでください。

●予約運転のとき
洗濯・脱水槽内で固まる恐れがあります。
●洗▶乾の「毛布」コース、洗濯の「毛布」「ドライ」コースのとき
つけおき洗いにより、黄ばみや黒ずみの恐れがあります。

風呂水を使う

風呂水吸水の設定のしかた

お湯取 を押し、風呂水を使う行程のランプを点灯させる

押し回数 洗濯コース	押し回数 洗乾コース	洗い	すすぎ1	すすぎ2	乾燥
	1回押す	風呂水	風呂水	風呂水	風呂水
	2回押す	風呂水	風呂水	水道水	風呂水
	3回押す	風呂水	水道水	水道水	風呂水
1回押す	4回押す	風呂水	風呂水	風呂水	水道水
2回押す	5回押す	風呂水	風呂水	水道水	水道水
3回押す	6回押す	風呂水	水道水	水道水	水道水
4回押す	7回押す	水道水	水道水	水道水	水道水

洗濯の「ドライ」コースと「乾燥」だけの運転は、風呂水は使えません。

●設定内容は記憶されます。
●注水すすぎの場合、設定水位まで風呂水を吸水後、水道水を注水します。
●お湯取ボタンによる補給水は、水道水になります。
●洗いやすすぎの給水中に一時停止をしてお湯取ボタンを押すと、風呂水を使う行程が変えられます。（回転シャワーすすぎ設定時は、すすぎの設定変更はできません）
●洗い行程がある場合に、風呂水のすすぎ1・すすぎ2のみの設定はできません。
●洗いやすすぎ行程で設定水位に達してから約1分間は、風呂水を使う行程が変えられません。
●ホット高洗浄設定時は、ホット高洗浄動作終了まで、設定の変更はできません。
●すすぎ1、2に風呂水給水を設定した場合の動作は → P.2

風呂水吸水時のご注意

●「洗濯」運転で風呂水を利用した場合、洗濯終了後に乾燥フィルターが湿っていることがあります。（お湯の影響であり、異常ではありません）
●「乾燥」運転で入浴剤の入った風呂水を使用した場合、洗濯物に入浴剤の臭いがつくことがあります。

ご注意
●入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の注意書きに従ってください。色移りや変色を防ぐためです。

風呂水吸水を設定し、スタートしたあとの給水動作

① 洗剤溶かし行程までは水道水で運転します。（約3分間、約15L）

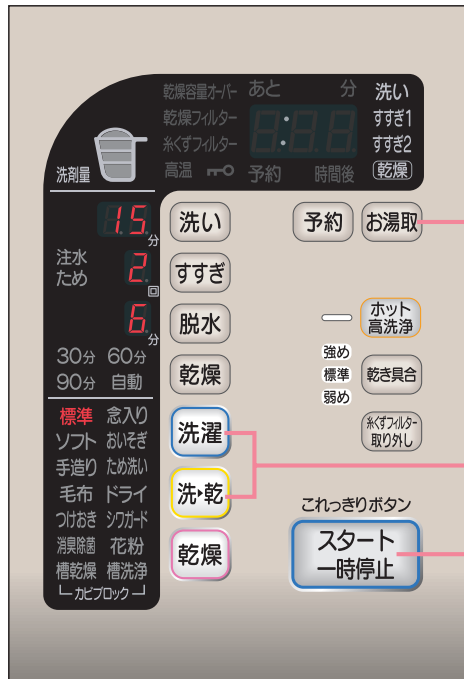
② 風呂水ポンプが風呂水を吸い上げる。

●風呂水ポンプが運転を始めてから風呂水を吸い上げるのに約1～3分かかります。（ホース内の空気を抜くためです）
●風呂水吸水中に風呂水ポンプを停止し、水道水を給水する場合があります。（2分ごとに7秒間を2回まで）（自吸性能を向上させるためです）

風呂水がなくなったり、正しく風呂水吸水しなくなったとき

風呂水ポンプ運転開始10分後に自動的に水道水に切り替わり運転を続けます。（以降の行程もすべて水道水に切り替ります）

●乾燥運転開始後30分毎に風呂水有無の検知をします。正しく風呂水吸水しなくなったときや、運転開始後150分を過ぎると、自動的に水道水に切り替わり運転を続けます。

洗濯をする／洗濯～乾燥をする

準備 **水栓を開け、洗濯物を入れる**

1 入 を押し、**電源を入れ、内ふたを閉める**

2 洗濯 洗▸乾 **運転したいいずれかのボタンを押し、希望のコースのランプを点灯させる**

3 お湯取 を押し、**運転したい行程のランプを点灯させる** →P.23

4 スタート 一時停止 **を押す**

メロディが鳴って洗濯物の量を測定し、約30秒後に洗剤量(目安)を表示します。

5 **洗剤量(目安)に従って、**
洗剤、漂白剤、ソフト仕上剤を入れてふたを閉める →P.18～21

シワガードコースは、水使用量が一定のため、洗剤量は40mL(カップ0.3杯)を目安に入れてください。

メロディが鳴ったら終了です。

「洗▶乾」運転の場合は、乾燥終了後、ふんわりガード運転に入ります。 →P.48

■ホット高洗浄を使うときは
ホット高洗浄 **を押し、ランプを点灯させる** →P.48

■「洗い」「すすぎ」「乾燥」の設定を変えたいとき
→P.42～45

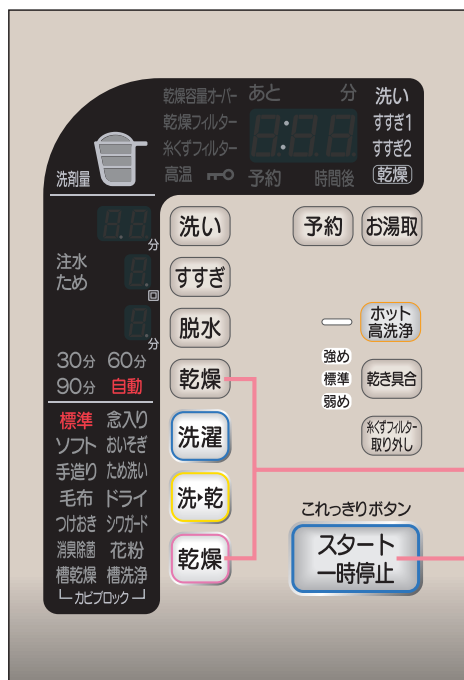
コースの使い分け

こんなときに		おすすめコース	運転できるコースと洗濯・乾燥容量 洗濯	洗乾	ホット高洗浄	風呂水吸水 お湯取	おすすめ洗剤
普段の洗濯物に	▶	標　準	9kg	7kg	運転できる	運転できる	粉末合成洗剤または液体洗剤
汚れが多いときや厚手の洗濯物に	▶	念入り	9kg	7kg			
自分でコースを造る	▶	手造り	9kg	7kg			
軽い汚れを短時間に洗濯・乾燥	▶	おいそぎ	4.5kg	2kg			
タオルや糸くずの気になるものの洗濯・乾燥に	▶	ため洗い	9kg	7kg			
えり、そで、くつ下のがんこな汚れに	▶	つけおき	6kg	6kg			
セーターやランジェリーのお洗濯に	▶	ソフト	4.5kg				中性洗剤
綿のワイシャツなど、シワになりやすいものの洗濯・乾燥に	▶	シワガード		2kg			粉末合成洗剤または液体洗剤

毛布 コースについては ➔P.28　**ドライ** コースについては ➔P.32

乾燥をする

準備 **水栓を開け、洗濯物を入れる**

1

入 を押し、**電源を入れ、内ふたを閉める**

2

乾燥 **希望のコースのランプを点灯させる**

タイマー乾燥(30/60/90分)するときは、
「標準」のランプを点灯させた状態で

乾燥 を押し、**希望の時間のランプを点灯させる**

表示	設定内容
30分 60分 90分 自動 (自動点灯)	乾き上がるまで自動運転します。
30分 60分 90分 自動 (30分点灯)	30分間乾燥運転します。(温風運転で衣類をほぐし、干しやすくします。)
30分 60分 90分 自動 (60分点灯)	60分間乾燥運転します。
30分 60分 90分 自動 (90分点灯)	90分間乾燥運転します。

3

ふたを閉めて、

スタート 一時停止 **を押す**

メロディが鳴ったら終了です。 → P.48

乾燥終了後、ふんわりガード運転に入ります。

ご注意

漂白剤などを使用したとき

洗濯時、漂白剤や次亜塩素酸ナトリウムなどの薬剤をご使用になったときは、十分(においが残らない程度)にすすいでから乾燥してください。

●洗濯物に漂白剤などが残っているまま乾燥すると、本体の寿命を縮めたり、衣類を傷めます。

コースの使い分け

こんなときに		おすすめコース	乾燥容量
普通の乾燥に		標　準	7kg
厚手の乾燥に		念入り	7kg
綿のYシャツなどの乾燥に		シワガード	2kg
ドライマークや平干し表示のセーター乾燥に		ドライ	0.4kg
においや雑菌が気になるもの		消臭除菌	1kg
花粉をとりたいときに		花　粉	2kg

消臭除菌コースで運転できるもの(運転できないものは P.14)

- ●ウール、アクリル製品
- ●ポリエステルや化繊混紡製品
- ●スーツやスラックスなど
- ●くつ(スニーカー)やスリッパ
- ●帽子やかばん(皮革、毛皮製品以外)、ぬいぐるみ(スポンジが入っていないもの)など

衣類の入れかた

- ●衣類はきちんとたたんでから、洗濯・脱水槽の底に均一に広げて入れてください。
- ●除菌を確実にしたい衣類は、上の方に入れてください。
- ●臭いの種類によっては、消臭できないものもあります。

衣類の縮みについて P.17

衣類は水につけたり、洗濯して乾かすだけで縮むものがありますが、乾燥を行うとさらに縮みが大きくなるものもあります。

●縮みの程度は1回目の洗濯・乾燥でほぼ決まります。

縮みやすいもの

サマーセーター

綿や麻のニット製品など

運動用くつ下

ポリウレタン混紡の製品など

縮みにくいもの

ワイシャツ　**ブラウス**

綿、混紡などの織物

ポリエステル製品など

- ●縮みの程度は生地の種類や織りかた、縫製、仕上げなどによっても異なります。
- ●縮みやすい衣類の例
  - ・ウールや綿のセーターでリブ編みのもの

縮みについての対応

- ●乾燥前に衣類の取扱絵表示・材質表示をよく確認します。
- ●天日乾燥を上手に併用します。(例えば、天日乾燥したものの仕上げに乾燥を行うなど)
- ●縮みやすいものについては、できればあらかじめひと回り大きめの衣類のご購入をお勧めします。

毛布の洗濯をする／洗濯〜乾燥をする

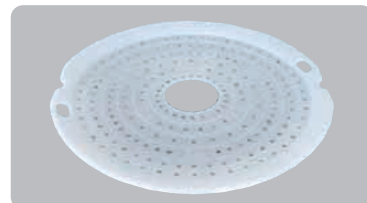
【洗濯物の準備】

洗濯 運転と 洗・乾 運転では、洗濯・乾燥できる量や

「洗濯」運転

■「毛布」コースで洗濯するときは、別売りの「お洗濯キャップ(MO-F89)」が必要です。→P.67

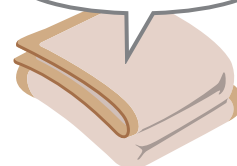
●お洗濯キャップを使用せずに洗濯すると、洗濯物を傷めたり、本体が破損する恐れがあります。

※お洗濯キャップの取り付け・取り外しかたについて →P.31

洗濯できるもの

■洗濯できる毛布

● と表示されている毛布。

●アクリル、またはポリエステルのマイヤー毛布、タフト毛布、織毛布（幅180cm×長さ230cm以下、1枚の重さが4.7kg以下）

●電気毛布については、電気毛布の取扱説明書に従って洗濯してください。(「乾燥」運転はしないでください)

■洗濯できる掛ふとん

●中わた材質が化せん（ポリエステル）のふとん
掛ふとん　(シングルサイズ　幅150cm×長さ210cm以下、中わた質量1.8kg以下のもの)
肌掛ふとん(ダブルサイズ　　幅190cm×長さ210cm以下、中わた質量1.8kg以下のもの)

●中わた材質が羽毛の掛ふとんで 表示のあるもの
(例：肌掛ふとん　中わた質量0.5kgなど)

ご注意 ●中わた材質が羊毛のものや、カバー材質が絹のものは洗わないでください。

■その他洗濯できるもの

● 手洗イ 表示のベッドパット、カーテン

● 手洗イ 表示のまくら、クッション（中わたが化せん(ポリエステル)のもの）

毛布・掛ふとんの入れかた

1 毛布、掛ふとんの角から、洗濯・脱水槽に少しずつ入れます。

2 掛ふとんは中わたの空気を追い出すように、少しずつ入れます。

種類、洗濯・脱水槽への入れかたなどが異なります。

「洗▶乾」運転

■お洗濯キャップは使用しないでください。
乾燥の熱でお洗濯キャップが溶けてしまいます。

洗濯～乾燥できるもの

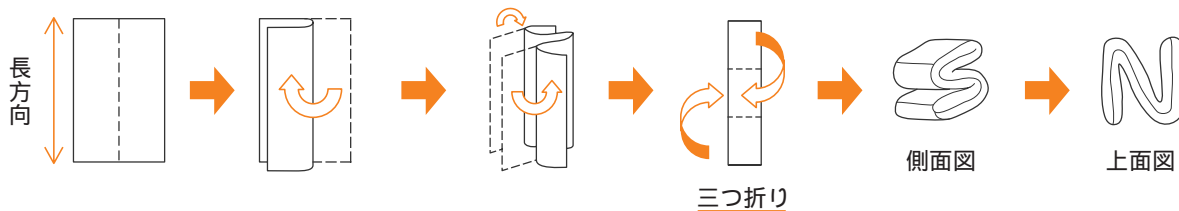
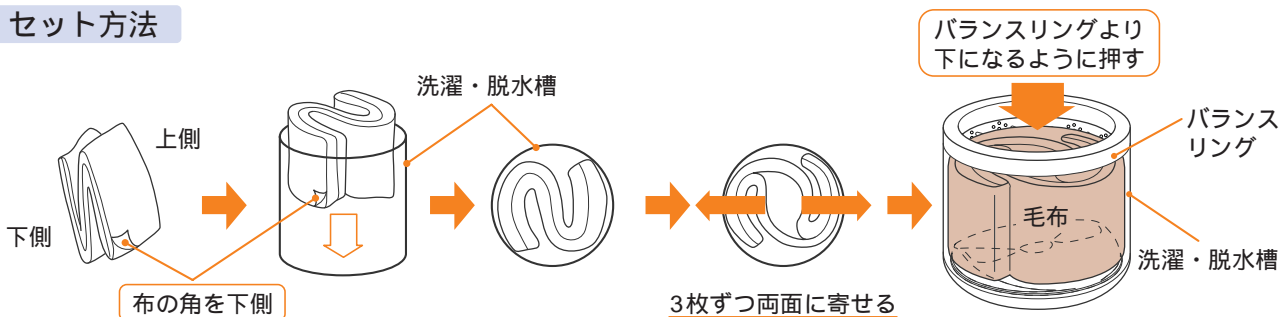
■洗濯～乾燥できる毛布

● 手洗イ と表示されている毛布。

●アクリル、またはポリエステルのマイヤー毛布、タフト毛布、織毛布（幅180cm×長さ230cm以下、1枚の重さが2.8kg以下）

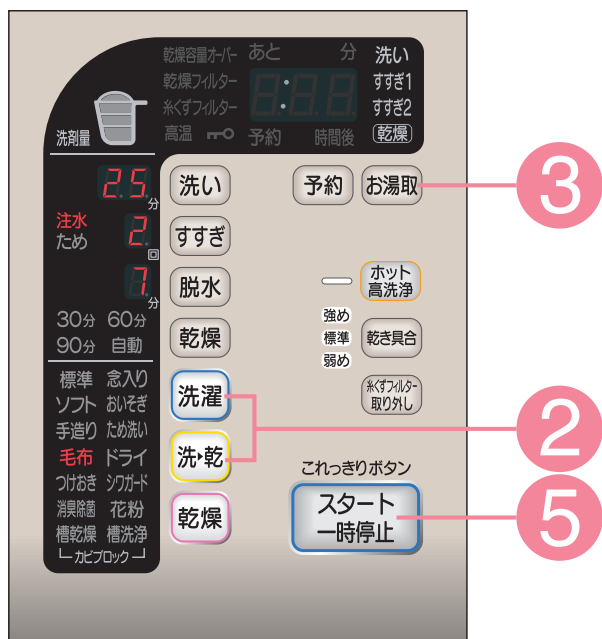
■ふとん、まくら、電気毛布は洗濯～乾燥できません

毛布の入れかた

折りかた

セット方法

ご注意 ●毛布の角を下側にしないと、運転中に毛布を傷める恐れがあります。

毛布の洗濯をする／洗濯～乾燥をする

毛布の洗濯をする／洗濯～乾燥をする

【コースの設定～運転】

準備 水栓を開け、洗濯物を入れ、「洗濯」運転の場合は、お洗濯キャップをセットする

「洗▶乾」運転の場合は、お洗濯キャップを使用しないでください。

1 入 を押し、電源を入れ、内ふたを閉める

2 洗濯 洗▶乾 運転したいいずれかのボタンを押し、「毛布」のランプを点灯させる

3 お湯取 を押し、運転したい行程のランプを点灯させる ➔ P.23

4 液体洗剤、ソフト仕上剤を入れてふたを閉める ➔ P.18～21

（液体洗剤は洗剤投入口に入れてください）

5 スタート 一時停止 を押す

メロディが鳴ったら終了です。

液体洗剤を入れる

ソフト仕上剤を入れる

毛布コースは、水使用量が一定のため、洗剤量は107mL(カップ1.3杯)を目安に入れてください。

お願い ●運転終了後、乾きにムラがあるようなときは、毛布を折り返し、乾燥の「ドライ」コースで再度乾燥させてください。

お洗濯キャップの取り付けかた

1 **お洗濯キャップを曲げ、凹部と洗濯・脱水槽の凸部(プラスチック)を合わせる**

2 **図のように、お洗濯キャップ全体を洗濯・脱水槽の中に入れる**

3 **中央リング部を持って、バランスリングのすぐ下まで引き上げる**

洗濯が終わったら

お洗濯キャップの取り外しかた

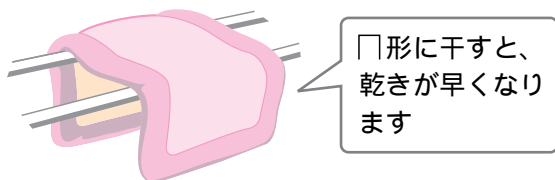
1 **お洗濯キャップの手前側を押し下げる**

2 **中央リング部を図のように持ち、矢印の方向に曲げる**

3 **そのまま手前に引くように、持ち上げる**

干しかた

●**風通しのよいところで自然乾燥させます。**
(掛ふとんの場合は、晴天の日で約4時間かかります)

冂形に干すと、乾きが早くなります

●掛ふとんは時々裏返すと乾燥がより効果的です。
また、時々中わたをつまんでほぐすと、ふっくら仕上がります。
●羽毛の掛ふとんは、中わたの片寄りをほぐしてから干すとふっくら仕上がります。(羽毛の変質と側地の傷みを防ぐため、シーツなどを上に掛けて干してください)
●毛布は湿っているうちに、ブラシで一方向に毛並みをそろえると、きれいに仕上がります。

ドライマーク付き衣類の洗濯をする／乾燥をする

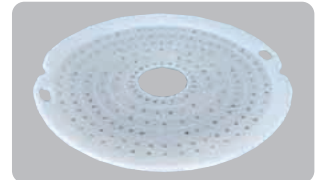
【洗濯物の準備】

洗濯 運転と 乾燥 運転では、洗濯・乾燥

「洗濯」運転

■「ドライ」コースで洗濯するときは、別売りの「お洗濯キャップ(MO-F89)」が必要です。 → P.67

●お洗濯キャップを使用せずに洗濯すると、洗濯物を傷めたり、本体が破損する恐れがあります。

※お洗濯キャップの取り付け・取り外しかたについて → P.35

洗濯できるもの

衣類の取扱絵表示	表示があるもの
	表示があるもの

●セーター、カーディガン(ウール、アンゴラ、カシミヤなど)
●スラックス、スカート
●ブラウス、シャツ、ワンピース(絹、麻など)
●学生服、セーラー服

※ドライ 表示があっても、洗えないものがあります。 → P.14

1.5kg以下

ご注意 ●左記以外の衣類については、衣類の取扱絵表示や洗剤の表示に従ってください。

お洗濯の準備

衣類の前処理

●しみやひどい汚れは早めに処理してください。
時間がたつと落ちにくくなりますので、お洗濯前に部分洗いなどで処理をしておくとより効果的です。
●ボタンやししゅうがついている衣類は裏返にします。
●ボタンやファスナーは閉めてください。

色落ちの確認

●色落ちしそうな衣類は、あらかじめ、色落ちの確認をしてください。白いタオルなどに洗剤液を含ませ、衣類の目立たない部分に強く押し当ててタオルに色移りしないか確認してください。
色落ちがあった場合は、お洗濯しないでください。
●色落ちしやすい衣類(スカーフ、外国製の衣類など)は、十分に注意してください。

脂汚れ、しみなどを落ちやすくする

えり、そで口などの脂汚れ

●えり、そで口、すそやポケット回りの汚れは、洗剤の原液をつけて、ブラシで一定方向にこすってください。

しみ

●裏にタオルを当て、洗剤の原液をつけてブラシなどで軽くたたいて落します。

洗濯後、縮みが大きくなった場合のことを考えて、元の形に修正するために型紙を取っておくと便利です。

できる量や種類などが異なります。

「乾燥」運転

■お洗濯キャップは使用しないでください。
乾燥の熱でお洗濯キャップが溶けてしまいます。

乾燥できるもの

●ウール、アンゴラ、カシミヤなどのセーター、カーディガン
●ウール、ウール混紡のスカートやスラックス
●麻、ポリエステルなどのブラウス、シャツ、スカート
※ドライマーク付衣類でも上記のものは乾燥できます。
●乾燥できる衣類の量は1枚です。
●0.4kg以上の大物は乾燥しないでください。

ご注意 ●取扱絵表示および素材表示のないものは、クリーニングに出すことをおすすめします。

しみの抜きかたワンポイント

●万一、衣類にしみがついた場合は、3倍濃度の洗剤液につけ置きしてください。
※上記対応でしみが抜けないときは、下記のように市販の漂白剤をご使用ください。
●漂白剤は、酸化型と還元型とに分けられ、さらに酸化型は塩素系と酸素系に分けられます。
各々、下記のような特徴があり、使えるものと使えないものがありますので、ご使用前に漂白剤の容器に表示してある注意書きをよくご覧になり、正しくご使用ください。

・酸化型
(1)塩素系(ハイター)：
漂白力、殺菌力はもっとも強いのですが、色物や毛・絹には使えません。
(2)酸素系(ワイドハイター、カラーブライト)：
色・柄物に使えますが、粉末の場合は毛・絹には使えません。

・還元型(ハイドロハイター)
水中の鉄分で黄ばんだり、さびがついたりしたときや、塩素系漂白剤のためにワイシャツのえりの芯地が黄変したときに使います。色・柄物には使えません。

使用する洗剤について

■使用する洗剤について

●衣類の取扱絵表示が (ドライ) 表示のものは、ドライマーク衣類専用の洗剤(液体)を使用してください。
(手洗イ) 表示のあるものは、中性洗剤(液体)も使用できます。
●使用量は洗剤の表示に従ってください。
●液体洗剤以外は使わないでください。

ドライマーク付き衣類の洗濯をする／乾燥をする

【コースの設定～運転】

準備 **水栓を開け、洗濯物を入れ、お洗濯キャップをセットする**

1 入 **を押し、電源を入れ、内ふたを閉める**

2 洗濯 乾燥 **運転したいいずれかのボタンを押し、「ドライ」のランプを点灯させる**

3 **液体洗剤、ソフト仕上剤を入れてふたを閉める** → P.18～21

（液体洗剤は洗剤投入口に入れてください）

4 スタート一時停止 **を押す**

メロディが鳴ったら終了です。

液体洗剤を入れる

ソフト仕上剤を入れる

ドライコースは、水使用量が一定のため、洗剤量は53mL(カップ0.6杯)を目安に入れてください。

お願い **●お湯や風呂の残り湯は使用しないでください。**
衣類の縮みが大きくなったり、入浴剤の色が移る恐れがありますので、水道水を使用してください。

お洗濯キャップの取り付けかた、外しかた

取り付けかた

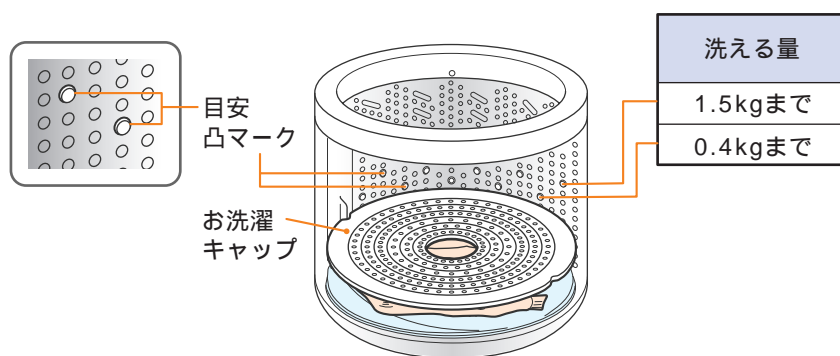
お洗濯キャップの凹部と洗濯・脱水槽の凸部(プラスチック)を合わせて、2つ折りにして洗濯・脱水槽に入れる。

外しかた

取り付けたときと同じように、洗濯・脱水槽の中で2つ折りにして引き出す。

お洗濯キャップ

洗える目安

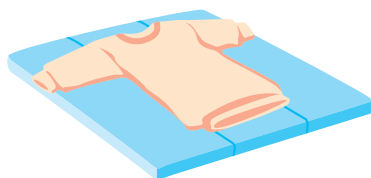
洗える量
1.5kgまで
0.4kgまで

ご注意

●洗濯物はきちんとたたんでから、洗濯・脱水槽いっぱいに入れて、お洗濯キャップでおさえてください。

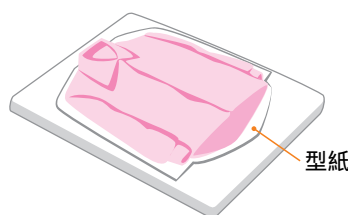
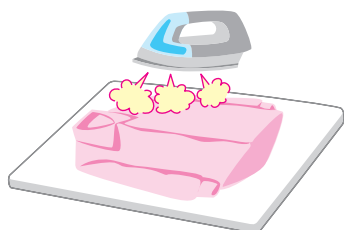
洗濯/乾燥が終わったら

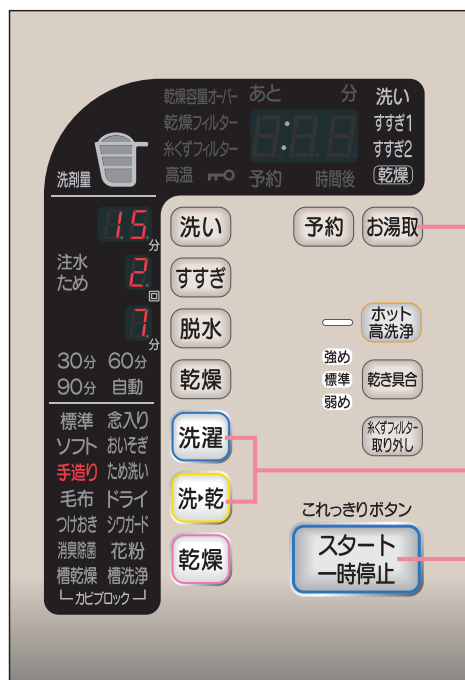
干しかた

●ウール、アンゴラ、カシミヤなどのセーターは、形を整えて日陰で平干しにします。

●風呂のふたなどを使って平干しにすると形くずれが防げます。

●ブラウスやワンピースは形を整えて日陰でハンガーに干します。

仕上げ(縮み、形くずれの直しかた)

●スチームアイロンを軽く浮かせてスチームをかけ、形を整えます。

●スチームをたっぷりあてたあと、型紙に合わせて元の形までのばし、形を整えます。

自分でコースを造る

ランプが点灯している時間や回数の内容で運転します。

準備 **水栓を開け、洗濯物を入れる**

1 入 **を押し、電源を入れ、内ふたを閉める**

2 洗濯 洗▸乾 **運転したいいずれかのボタンを押し、「手造り」のランプを点灯させる**

を押し、運転内容を設定する

■ホット高洗浄を使うときは

を押し、ランプを点灯させる ➔ P.48

3 お湯取 **を押し、運転したい行程のランプを点灯させる** ➔ P.23

4 スタート 一時停止 **を押す**

5 **洗剤量(目安)に従って、**
洗剤、漂白剤、ソフト仕上剤を入れてふたを閉める ➔ P.18～21

メロディが鳴ったら終了です。
「洗▸乾」運転の場合は、乾燥終了後、ふんわりガード運転に入ります。 ➔ P.48

コースの使い分け

●「手造り」コースの内容は記憶されます。（ほかのコースで設定した内容は記憶されません。）
●繰り返し使うコースは「手造り」コースを使うと便利です。

内容の変えかた

□ 工場出荷時の設定です。

洗い

3分 洗い ▶ 6分 洗い ▶ 9分 洗い ▶ 12分 洗い ▶ 15分 洗い ▶ 20分 洗い ▶ 25分 洗い（「念入り」コースのみ） ▶ 分 洗い（「洗濯」のみ）

すすぎ

注水1回 すすぎ ▶ ため1回 すすぎ ▶ 注水ため1回 すすぎ ▶ 注水2回 すすぎ ▶ ため2回 すすぎ ▶ 注水ため2回 すすぎ ▶ 注水3回 すすぎ ▶ ため3回 すすぎ ▶ 注水ため3回 すすぎ ▶ 回 すすぎ（「洗濯」のみ）

■すすぎについて
●注水すすぎ：水をため、給水しながらすすぎます。
●ためすすぎ：水をためてすすぎます。

脱水

1分 脱水 ▶ 2分 脱水 ▶ ・・・・・・ ▶ 7分 脱水 ▶ 8分 脱水 ▶ 9分 脱水 ▶ 分 脱水

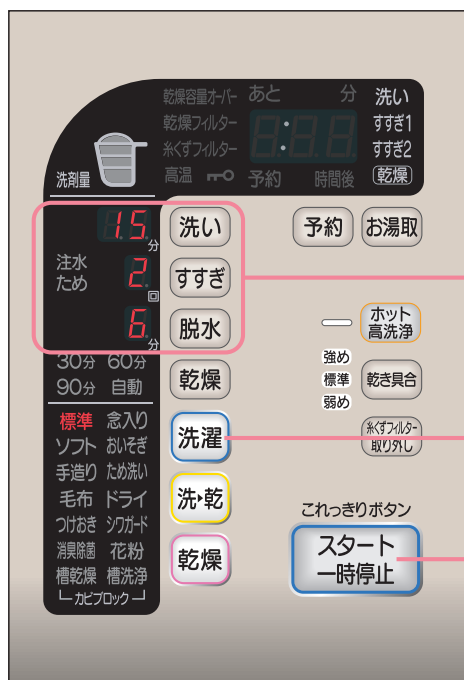
「洗▶乾」運転の場合は受け付けません。

乾燥

30分 乾燥 ▶ 60分 乾燥 ▶ 90分 乾燥 ▶ 自動 乾燥

30分 60分 90分 自動

「自動」は乾き上がるまで自動運転します。

標準コースで部分運転をする

準備	水栓を開ける

1 入 を押し、**電源を入れ、内ふたを閉める**

2 洗濯 を押し、**「標準」のランプを点灯させる**

目的に合わせて選ぶ

■ホット高洗浄を使うときは
ホット高洗浄 **を押し、ランプを点灯させる** →P.48

3 お湯取 を押し、**運転したい行程のランプを点灯させる** →P.23

4 スタート一時停止 **を押す**
ふたを閉める

メロディが鳴ったら終了です。

こんな場合に

洗いのみ
→ 洗い　洗濯液は排水して停止します。

洗い→すすぎ
→ 洗い すすぎ　すすぎ液が残ったまま停止します。

洗い→脱水
→ 洗い 脱水　すすぎをしません。

すすぎのみ
→ すすぎ　すすぎの前に排水、脱水をします。すすぎ液が残ったまま停止します。

すすぎ→脱水
→ すすぎ 脱水　すすぎの前に排水、脱水をします。

脱水のみ　水を抜くとき
→ 脱水　水を抜くときは1分を選び、脱水が始まったら電源を切ります。

水をためたいとき

準備 水栓を開ける

1. 入 を押し、電源を入れる
2. 洗濯 を押し、「ため洗い」を選ぶ
3. 洗い を押し、「3分」を選ぶ
4. すすぎ 脱水 を押し、設定をなしにする
5. スタート一時停止 を押す

メロディが鳴ったら終了です。
洗剤液は残ったまま停止します。

洗濯のりを使うとき

洗濯のりについて

化学合成のり（酢酸ビニール系、PVAc）と表示されているものに限ります。

●上記以外の洗濯のりは、故障の原因となる恐れがありますので、成分表示をご確認ください。
※PVA(ポリビニルアルコール)は使用しないでください。

洗濯のりの量

洗濯のりに表示されている分量を目安にしてください。

のり付けできる洗濯量

3kg以下（洗濯物の重さの目安 →P.14）

1. 上記の「水をためたいとき」を運転する

洗い
3分

に設定する。

2. スタート一時停止 を押したあと、給水が始まったら一時停止し、直接洗濯・脱水槽に洗濯のりを入れ、再度 スタート一時停止 を押す
3. 洗濯のりが溶けたら電源を切り、のり付けしたい衣類を入れる
4. 洗い→脱水 を運転する

<衣類の量が3kgの場合>

洗　い	すすぎ	脱水
6分	設定なし	1分

に設定する。

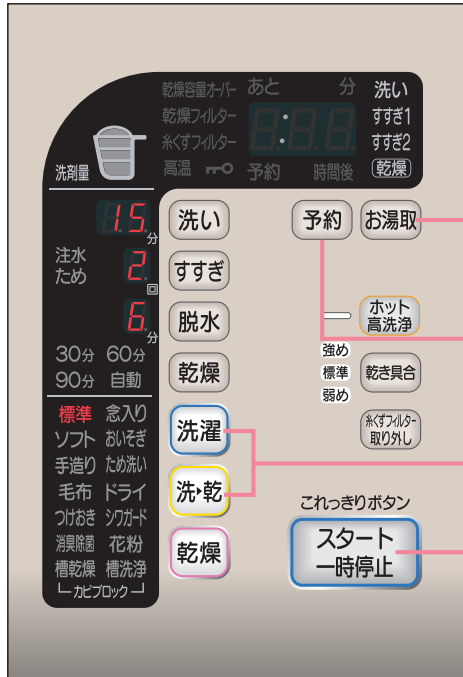
ご注意 ●のり付けするときは、ホット高洗浄を設定しないでください。
●乾燥フィルターが目詰まりするため、のり付けした衣類は「乾燥」しないでください。故障の原因になります。

のり付けしたあとは

洗濯・脱水槽に残った洗濯のりを洗い流してください。

1. 電源を入れ、洗濯の「槽洗浄」コースを選ぶ
2. 運転時間を3時間に設定する
（市販の塩素系漂白剤や洗濯槽クリーナーは使用しないでください。）
3. 内ふた、ふたを閉め、スタートボタンを押す

ご注意 ●洗剤、衣類は入れないでください。

予約をする

準備 **水栓を開け、洗濯物を入れる**

仕上がり時間を3〜12時間後の各1時間ごとに予約できます。出かけている間に洗いたいときや、夜間に洗って朝干したいときなどに便利です。

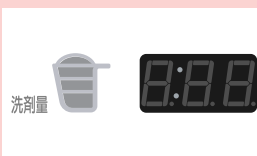
1 入 **を押し、電源を入れ、内ふたを閉める**

2 洗濯 洗›乾 **運転したいいずれかのボタンを押し、希望のコースのランプを点灯させる**

3 お湯取 **を押し、運転したい行程のランプを点灯させる** →P.23

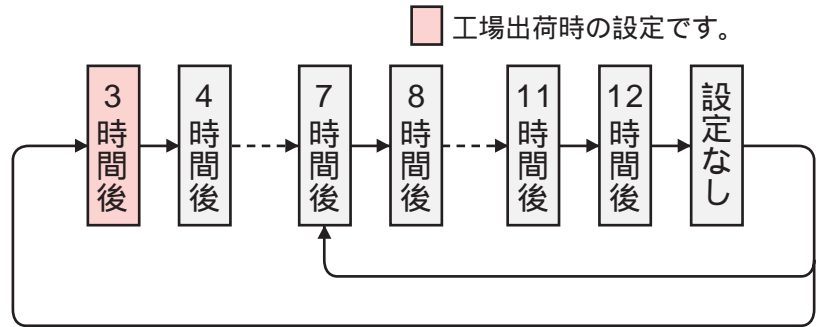
4 予約 **を押し、仕上がり時間を設定する**

5 スタート 一時停止 **を押す**

メロディが鳴って洗濯物の量を測定し、約30秒後に洗剤量(目安)を表示します。

6 **洗剤量(目安)に従って、**
洗剤、漂白剤、ソフト仕上剤を入れてふたを閉める →P.18〜21

洗濯内容を表示したあと、約90秒後に「予約」表示以外は消灯します。

予約ボタンの使いかた(切り替え内容)

■ボタンを押すごとに設定が変わります。

3～12時間後で設定可能	「洗濯」運転、洗▶乾の「おいそぎ」「シワガード」コースの場合
7～12時間後で設定可能	「洗▶乾」運転〔「おいそぎ」「シワガード」コース以外〕の場合

■洗濯の「毛布」「ドライ」コースおよびカビブロック(「槽乾燥」「槽洗浄」コース)、「乾燥」運転では予約できません。

こんなときには

●予約内容の確認：予約 を押す。(押している間、予約内容を表示)

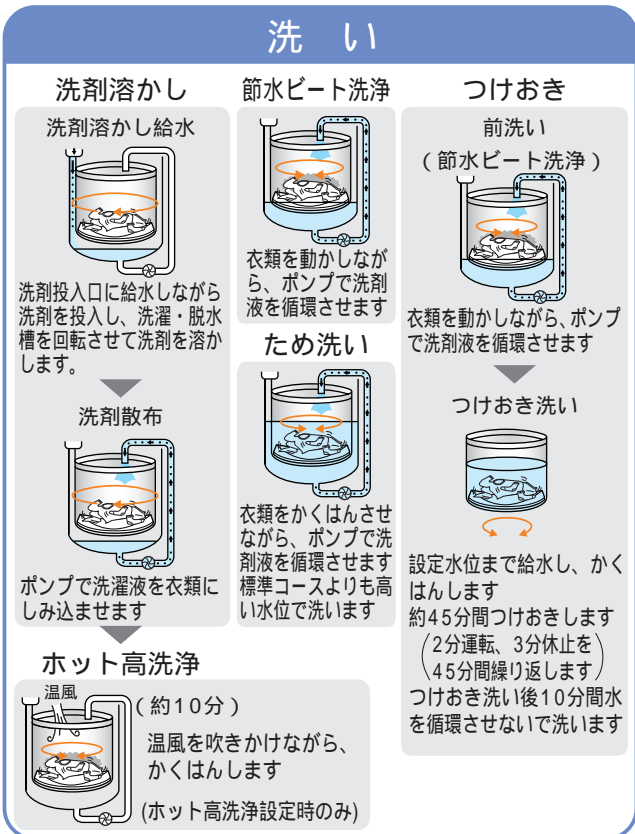
●予約の取り消し：切 を押し、電源を切る。

●予約の変更　：切 を押し、電源を切り、初めからやり直す。

ご注意
●**予約運転のとき、色移りしやすい衣類は一緒に洗濯しないでください。**
●電源プラグを抜いたり、停電したときは、予約運転は取り消されます。
●洗濯物の量や質、給水量により仕上がり時間がずれることがあります。
●衣類のシワ防止のため、洗濯が終わったらできるだけ早く干してください。

洗剤、漂白剤を入れる

ソフト仕上剤を入れる

全自動コースの運転内容と、変更できる内容

洗濯

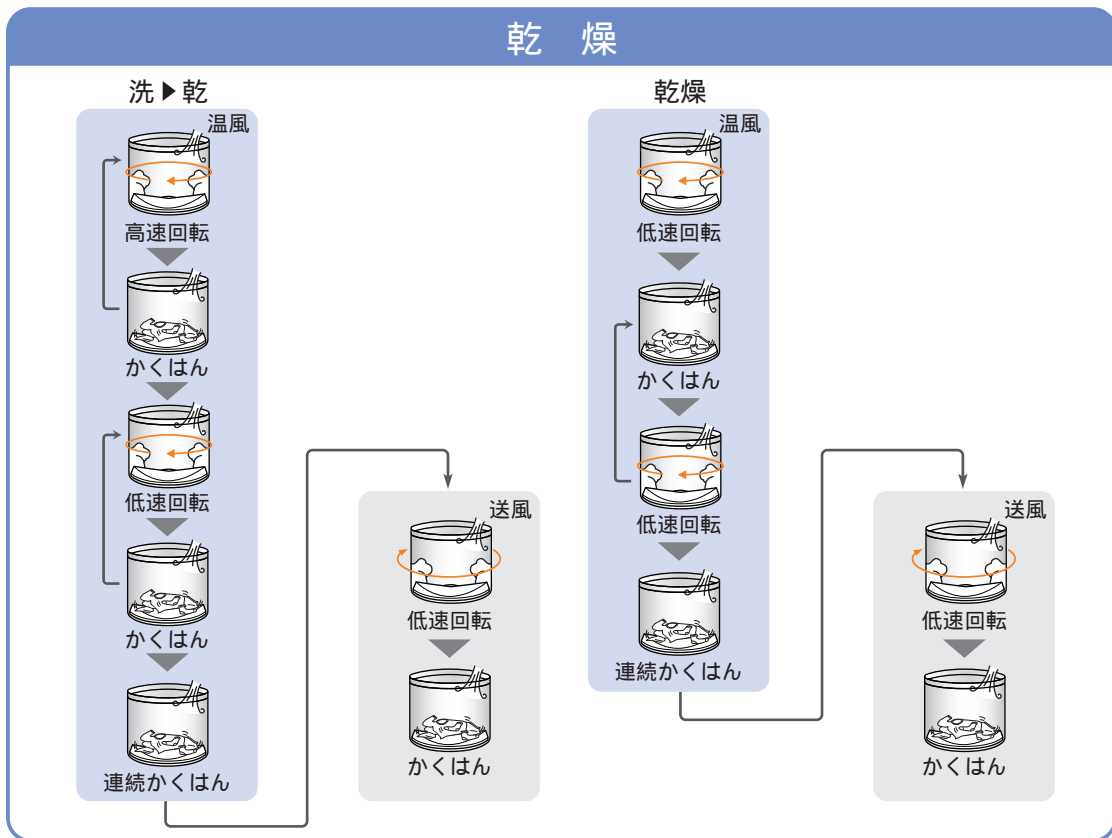
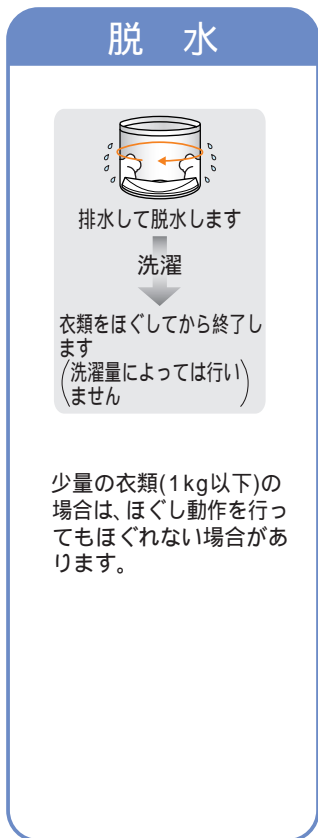
洗・乾

乾燥

コース	洗い	すすぎ 1回目	すすぎ 2回目	すすぎ 3回目
標　準	15分 3～20分	回転シャワーすすぎ	ビートすすぎ	―
		ビート、ためまたは注水ビートすすぎ1～3回		
念入り	25分 3～25分	ビートすすぎ	ビートすすぎ	ビートすすぎ
		ビート、ためまたは注水ビートすすぎ1～3回		
手造り	※15分 3～20分	※ビートすすぎ	※ビートすすぎ	―
		ビート、ためまたは注水すすぎ1～3回		
ため洗い	15分 3～20分	回転シャワーすすぎ	ためすすぎ	―
		ためまたは注水すすぎ1～3回		
つけおき	60分	ためすすぎ	ためすすぎ	―
		ためまたは注水すすぎ1～3回		

- ●給水時間(給水量毎分15L)・排水時間(標準状態)を含みます。(本体の残時間表示と上表の所要時間は、水道水圧、洗濯物の量、排水条件などにより異なります)
- ●「標準」「念入り」「ソフト」「ため洗い」「おいそぎ」「手造り」「つけおき」コースは、衣類の量と質を計測して、最適な洗濯内容を決定します。
- ●「手造り」コースは、あらかじめ設定してある初期状態(※で示す)の時間を表しています。
- ●「洗い」行程終了後は、コース内容は変更できません。
- ●スタートしたあとはコースの切り替えはできません。いったん電源を切ってから行ってください。

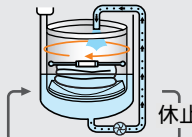
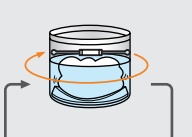
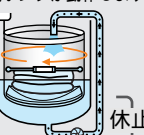
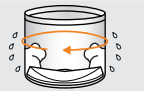
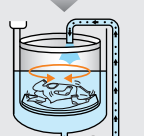
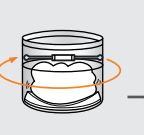
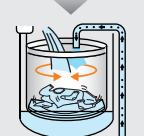
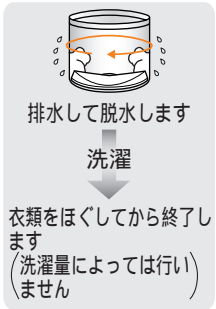
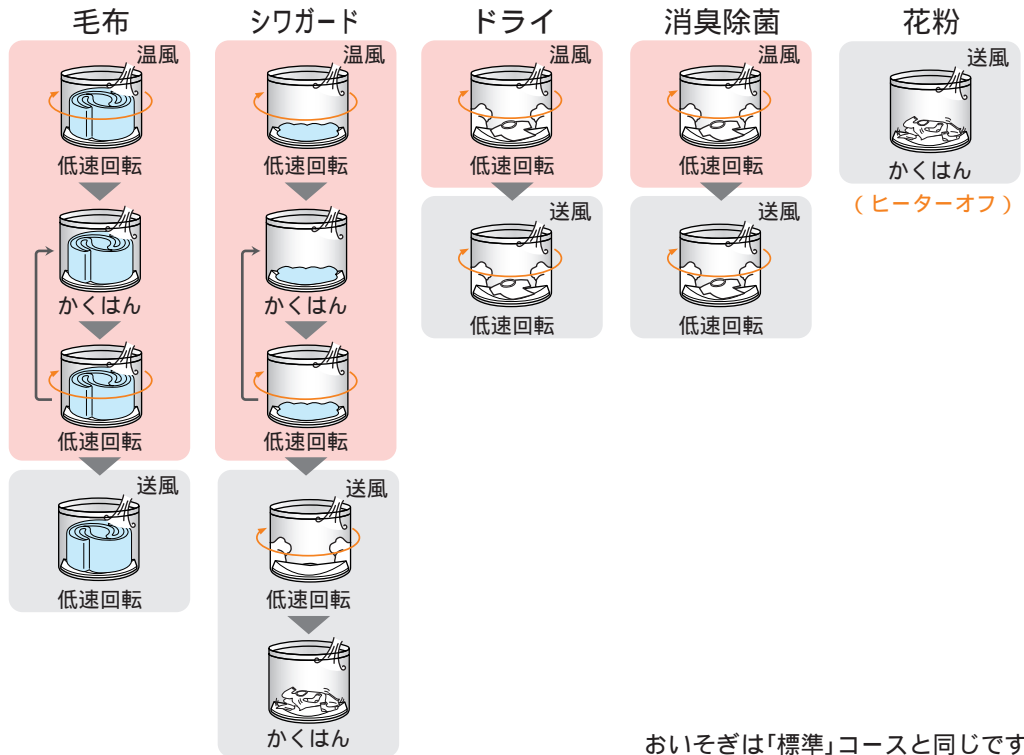
※少量の衣類(1kg以下)の場合は、ほぐし動作を行ってもほぐれない場合があります。

乾　燥

運転する行程

標準設定内容
各ボタンで切り替えできる内容

脱水		乾燥		所要時間の目安 (実際の時間とは異なる場合があります。)		
洗濯	洗▶乾	洗▶乾	乾燥	洗濯	洗▶乾	乾燥
6分 1〜9分	1分 7分(自動乾燥以外)	自動 30、60、90分	自動 30、60、90分	49分 (26〜93分)	1時間〜 7時間	40分〜 6時間
7分 1〜9分	1分 7分(自動乾燥以外)	自動 30、60、90分	自動	85分 (26〜93分)	1時間〜 7時間半	40分〜 6時間
※7分 1〜9分	※7分 1分(自動乾燥のみ)	※30分 60、90分、自動	—	58分 (26〜93分)	1時間〜 7時間	—
7分 1〜9分	1分 7分(自動乾燥以外)	自動 30、60、90分	—	65分 (26〜88分)	1時間〜 7時間半	—
7分 1〜9分	1分 7分(自動乾燥以外)	自動 30、60、90分	—	107分 (85〜128分)	2時間〜 8時間	—

●乾燥の目安時間は、室温20℃、水温20℃で運転した場合です。
●室温が約5℃以下のとき、または約30℃をこえたときには、自動的にヒーター入力が下がり、乾燥時間がさらに長くなることがあります。
●乾燥フィルターが目づまりしていると乾燥時間は長くなります。
●大物などは、丸まったりして乾燥時間が長くなることがあります。
●残時間表示が「10分」、「20分」または「30分」で、1時間〜2時間待機することがあります。
(規定の乾き具合になるまでセンサーで検知し、運転を継続しているためです。)

全自動コースの運転内容と、変更できる内容(続き)

コース	洗い	すすぎ 1回目	すすぎ 2回目	すすぎ 3回目
おいそぎ	6分	注水ビートすすぎ	—	—
	3～20分	ビート、ためまたは注水ビートすすぎ1～3回		
ソフト	15分	ビートすすぎ	ビートすすぎ	—
	3～20分	ビート、ためまたは注水ビートすすぎ1～3回		
毛　布	25分	注水すすぎ	注水すすぎ	—
ドライ	10分	ためすすぎ	ためすすぎ	—
シワガード	15分	ビートすすぎ	ビートすすぎ	—
消臭除菌	—	—		
花　粉	—	—		

※少量の衣類(1kg以下)の場合は、ほぐし動作を行ってもほぐれない場合があります。

※おいそぎは「標準」コースと同じです。

○○○ 運転する行程

標準設定内容

各ボタンで切り替えできる内容

脱水		乾燥		所要時間の目安（実際の時間とは異なる場合があります。）		
洗濯	洗▸乾	洗▸乾	乾燥	洗濯	洗▸乾	乾燥
3分 1～9分	1分	60分	―	36分 (26～93分)	1時間半～ 2時間	―
7分 1～9分	―	―	―	62分 (26～93分)	―	―
7分 1～9分	7分	自動	―	63分 (54～62分)	4時間～ 5時間	―
1分	―	―	100分 (ランプは90分)	38分	―	100分
―	7分	30分	30分	―	1時間～ 1時間半	30分
―	―	―	30分	―	―	30分
―	―	―	10分 (ランプは30分)	―	―	10分

便利に使う

乾き具合の調整

■乾燥後の衣類の乾き具合は、衣類の量、大きさ、質によって異なります。
お客様のご使用状況にあわせて、調整してください。

工場出荷時は「標準」にしています。乾き具合を調整するときは

  を押し、電源を入れる

 乾き具合 **を押して、お好みの乾き具合を選ぶ。**

「強め」：乾きムラが多いとき(しわがきつくなります)
「標準」：工場出荷時
「弱め」：乾きすぎるとき(湿り気がやや多くなります)

●「洗濯」運転設定時や、「乾燥」運転がタイマー運転の場合は設定できません。
●設定内容は記憶されます。

温度センサー制御

■室温を検知し、洗い時間をコントロールします。
室温が低い場合は、洗い時間が長くなります。

「設定あり」のときは、このドットが点灯します。
(運転を開始すると消灯)

工場出荷時は「設定あり」にしています。解除するときは

1 **を押し、電源を入れる**

 予約 **を3秒以上押す**

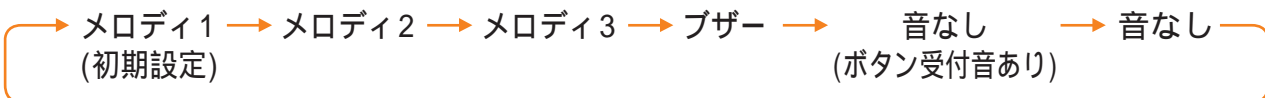
●洗濯と洗▸乾の「標準」「念入り」「ため洗い」コースで動作します。
（「洗い」のみなど、設定を変更した場合は動作しません）
●お湯取設定時、温度センサー制御は動作しません。
●連続して洗濯したときなどは、温度センサー制御が動作しない場合があります。
●設定内容は記憶されます。解除するときは同じ操作をします。

メロディ(ブザー)音を変える

■メロディアラームは、3種類のメロディーと電子ブザーに変えることができます。
また、終了メロディ(ブザー)、終了予告音を消すこともできます。次の手順で行ってください。

1 **を押し、電源を入れる**

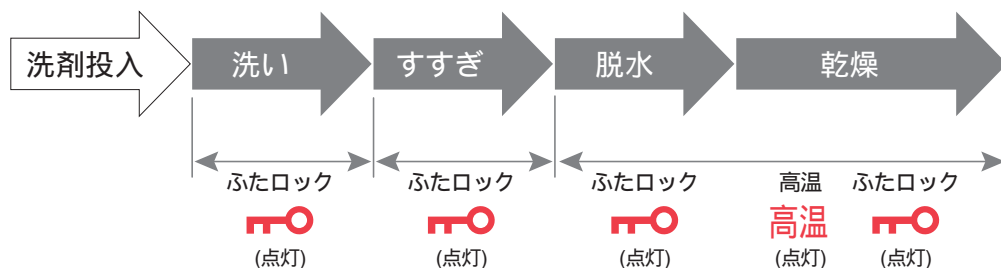
2 **洗乾コースボタン** **を3秒以上押すごとに、次のように切り替わります。**

メロディ1 (初期設定) → メロディ2 → メロディ3 → ブザー → 音なし (ボタン受付音あり) → 音なし →（メロディ1へ戻る）

●設定されると各メロディ音が鳴ります。音なし(ボタン受付音あり)のときは「ピー」、
音なしのときは「ピッ」と鳴り、設定完了をお知らせします。

■終了予告音(約5～10分前のチャイム)変更方法

電源ボタン 入 を押した後、スタートボタン スタート一時停止 の3秒以上押しで消すことができます。
元に戻すときは、同じ操作をしてください。
設定完了は、「ピッ・ピッ・終了予告音」でお知らせします。
設定解除は、「ピッ・ピッ・ピッ」でお知らせします。
(脱水中、衣類のアンバランスで安全スイッチが働いて脱水をやり直したときはチャイムは鳴りません)

ふたロック

■安全のため、洗濯や乾燥中は、ふたがロックされます。

ふたを開けたいときは

スタート 一時停止 を押す → 運転動作が止まるとロックが解除し、ランプが消灯します。

(乾燥運転中は、冷却運転が 終了するまで ロックは解除 できません。 → P.2)

再スタートするときは

スタート 一時停止 を押す → ふたがロックされ、ランプが点灯します。

便利に使う

自動槽クリーニング

■乾燥運転時に洗濯・脱水槽の裏側にたまるホコリをクリーニングするために、洗乾・乾燥運転5回終了ごとに、次回の洗濯のすすぎを「ためすすぎ」にします。

〔設定時、解除時の表示〕

設定時 ドットが点灯

解除時 ドットが消灯

工場出荷時は「設定なし」にしています。設定するときは

1. 入 を押し、電源を入れる
2. すすぎ を3秒以上押す

●設定したときは「ピー」、解除したときは「ピッ」と鳴ります。
●自動槽クリーニングが設定されているときは、「予約・残時間表示」部分に右下に●(ドット)が点灯します。

ほぐし脱水

■「洗濯」運転の最終脱水は、脱水終了後にほぐす運転を行い(2～4分)、洗濯物を取り出しやすくします。(「毛布」「ドライ」コースは除く)

からまん脱水を解除したいときは

1. 入 を押し、電源を入れる
2. 洗濯 を3秒以上押す

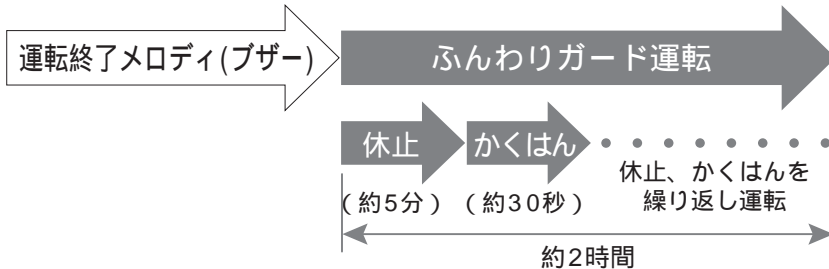
設定時　解除時

●設定内容は記憶されます。解除するときは同じ操作をします。

便利に使う(続き)

ふんわりガード

■乾燥終了後、洗濯物を取り出すまで、ふんわり感を保つため、かくはん運転を行います。
(「毛布」「ドライ」「シワガード」「消臭除菌」「花粉」コースは除く)

ふんわりガード運転 30秒間かくはんを5分間隔で約2時間運転します。
ふたを開けた時点で終了します。

ふんわりガード運転中は、
残時間表示が「0：00」
で点滅表示します。

ふんわりガード運転を取り消したいときは

●スタートボタンを押す前に

  を押し、電源を入れる

2 **を3秒以上押す**

●設定は記憶されません。次回電源を入れると、ふんわりガードは運転設定に戻ります。

ホット高洗浄

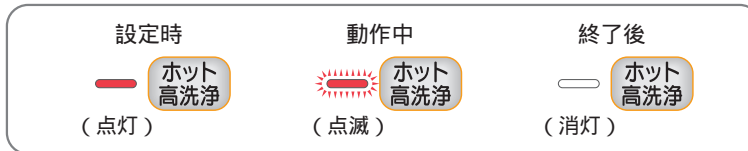
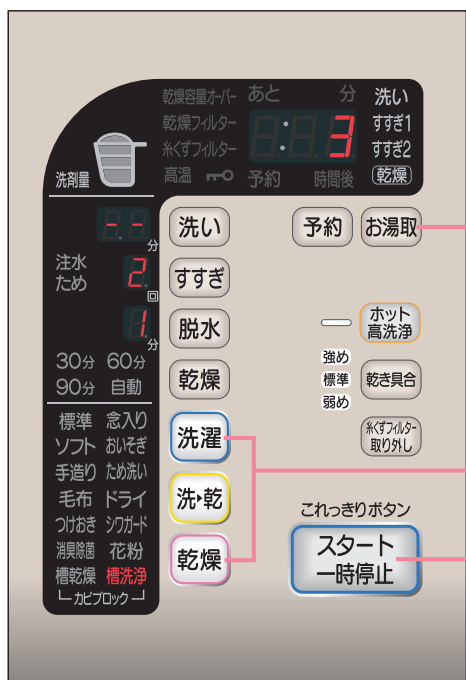
■高濃度洗剤液を衣類に振りかけたあと、温風を吹きかけ洗剤を活性化させて洗浄します。

1「ホット高洗浄」を選ぶ
※運転時間が約10分長くなります。

2 浸透させる
洗剤を投入口に入れ、高濃度洗剤液を振りかけ浸透させる

3 温める
温風を衣類に吹きかけ、洗剤が酵素パワーを発揮する温度まで温め、汚れを浮かせる

4 節水ビート洗浄
水を追加し、約2倍の高濃度洗剤液を循環させながら、押してたたいて、もみ洗う

設定時	動作中	終了後
ホット高洗浄 (点灯)	ホット高洗浄 (点滅)	ホット高洗浄 (消灯)

●ランプは、温風が出ている約10分間点滅し、その後消灯します。
●温度調整のために、洗濯液の一部を排水する場合があります。
●ホット高洗浄動作中に一時停止を押しても、すぐにふたのロックが解除しない場合があります。
（洗濯・脱水槽内を冷却しているためです）
●室温が低い(約8°C以下)場合、ホット高洗浄の動作時間が長くなります。(約3分)
●給水開始後、洗い時間を変更した場合、ホット高洗浄の動作を解除することがあります。
●こんなときはホット高洗浄はできません。
・水が入った状態でスタートした場合
・予約設定した場合
・「C17」エラーを表示している場合
・洗濯物の量が約2kg以下の場合
・糸くずフィルターランプが点灯している場合
●ホット高洗浄設定時は、洗濯物量を計測したあとからホット高洗浄動作終了まで、各設定の変更はできません。
●ホット高洗浄設定時は、塩素系の漂白剤は使用しないでください。変色、布やぶれの原因となります。
●ホット高洗浄動作中に一時停止した場合、フタロックが解除しても高温ランプは点灯しています。

洗濯・脱水槽のカビを防ぐ／カビを取る

準備 **水栓を開ける**

1 入 **を押し、電源を入れる**

2 洗濯 **を押し、槽洗浄を点灯させる**　　乾燥 **を押し、槽乾燥を点灯させる**

希望の運転時間を表示させる

（3時間）

または

（11時間）

市販の塩素系漂白剤または洗濯槽クリーナーを洗濯・脱水槽に直接入れる

3 お湯取 **を押し、運転したい行程のランプを点灯させる**

4 **内ふた、ふたを閉めて、** スタート 一時停止 **を押す**

メロディが鳴ったら終了です。

カビを防ぐ

槽乾燥	**30分間の乾燥運転で、洗濯・脱水槽を乾燥させ、黒カビの発生を抑えます。**

カビを取る

槽洗浄	**洗濯・脱水槽に発生した石けんかすや黒カビを洗い落とし、洗濯・脱水槽を乾燥します。**

こんなときに

（3時間）

2か月に一度程度

市販の塩素系漂白剤500mLを使う。

（11時間）

石けんかすが発生したとき しっかり掃除したいとき

別売りの洗濯槽クリーナーを使う

→P.67

お手入れ

糸くずフィルターのお手入れ

ご注意 **■洗濯・脱水槽や排水ホースに残水がある場合**

●洗濯・脱水槽に水が入っている場合、排水ホースが敷居をまたいで高くなっている場合(床面より10cm以上)や排水口が詰まっている場合は、糸くずフィルターを外すときに多量の水が出てきますので、十分注意してください。
排水を確認してからお手入れしてください。

■電源を入れたときに「糸くずフィルター」ランプが点灯している場合は、糸くずフィルターのお手入れをしてください。

■「糸くずフィルター」ランプが点灯していないときに、糸くずフィルターをお手入れする場合は、糸くずフィルター取り外しボタンを押してください。(スタートボタンを押したあとは、操作を受け付けません。)

●「糸くずフィルター」ランプが点灯していても運転はできますが、この場合は規定水位より高い水位での運転となります。さらに運転を続けると、電源を「入」にしたときに、「C17」→P.57 エラーが表示されます。このときは、糸くずフィルターをお手入れしてから「糸くずフィルター」ランプが消えたことを確認後、運転してください。

外しかた

1 入 押し、電源を入れ、

を押す

残時間表示に排水中の表示が出たあと、約10秒後に「ピー」音で排水完了をお知らせします。

●洗濯・脱水槽に水が入っている場合は、排水のための時間が長くなります。

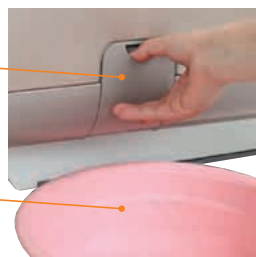
排水中の表示

「ピッピッピッ…」音のあと、「ピー」音で排水完了をお知らせします。

お手入れ中の表示

1秒ごとに点滅表示

●排水完了のお知らせブザーが鳴らない場合は →P.51

2 糸くずフィルターカバーを開ける

●糸くずフィルターを外すときに残水が出ますので、アンダートレイを引き出すか、水受けなどを置いてください。

3 糸くずフィルターのつまみを左に回す

4 つまみが縦になったら、手前にゆっくり引き出す

(残水が出ますので注意してください。)

お手入れと取り付けかた

1 糸くずを取り除き、目づまりを洗い落とす

目づまりがひどい場合は、歯ブラシなどで掃除してください。(フィルターが破れないように注意してください。)

2 糸くずフィルターのフィルター部を、下図の矢印方向にカチッと音がするまで確実に回す

3 つまみの▲部を上にして、糸くずフィルターを奥まで差し込み、つまみを右に止まるまでしっかり回す

●つまみが右に止まるまで回されていないと「C16」エラーが表示され、運転できません。

ご注意 ●糸くずフィルター取付部に糸くずなどが付着していないのを確認してください。

4 糸くずフィルターカバーを閉める

(アンダートレイを引き出したときは収納する)

■排水完了のお知らせブザーが鳴らない場合

●排水口または排水ホース内に糸くずが詰まっているときや、排水ホースが床面より10cm以上高くなっているときは、糸くずフィルターの取り外し時にブザー音が鳴り止まない場合があります。
排水口の糸くずを取り除くか、排水ホースの高さを床面より10cm以下にして、もう一度行ってください。

お願い ●糸くずフィルターは消耗品です。破損したときは、販売店でお買い求めください。
糸くずフィルター（部品番号 BW-D9GV-053）→ P.67

ご注意

●糸くずフィルターを取り出したとき、Oリング(黒いゴムのリング)をなくさないように注意してください。Oリングを取り付けないと、水漏れします。
取り付ける際、Oリングに糸くずが付着していないか確認してください。
万一、付着したまま取り付けると、水漏れする恐れがあります。

●糸くずフィルターのネットが破れたり、Oリングが破損した場合は、すぐに取り替えてください。水漏れや故障の原因になります。

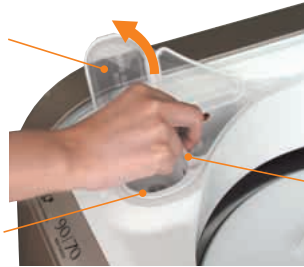
●糸くずフィルターは確実に固定してください。
固定していないと「C16」エラーが表示され運転できません。→ P.57

●誤って糸くずフィルター取り外しボタンを押した場合は、再度、糸くずフィルター取り外しボタンを押すか、一度電源を切ってください。

お手入れ(続き)

洗剤ケース（洗剤やソフト仕上剤が残っていたり、汚れていたら）

■洗剤や仕上剤が残っている場合は、水で洗い流してください。

1 洗剤ケース中央の仕切りをつまみ上げて取り外す

- ●ソフト仕上剤投入口部も掃除してください。
- ●汚れがひどいときは、お湯(約50℃)に約5分間浸し、歯ブラシなどで掃除してください。
- ●凍結したときは、洗剤ケースにお湯(50℃)を入れてください。

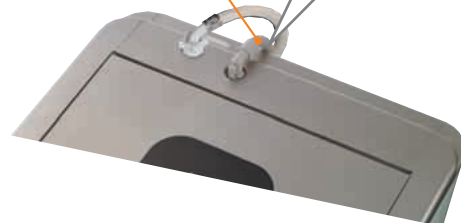
2 水気をふき取り、元どおり取り付ける

●洗剤ケースふた、キャップが取り付けられていることを確認してください。

風呂水吸水口（風呂水の吸水が遅くなったら）

1 お湯取ホースを外す → P.13

2 ポンプフィルターを取り外し、水洗いする

●ポンプフィルター中央部の突起をつまみながら引き上げてください。
●指でつまめない場合は、ペンチなどでつまみながら引き上げてください。

3 元どおり取り付ける

クリーンフィルター（風呂水の吸水が遅くなったら）

1 ストレーナを矢印方向に回して取り外し、フィルターやネットを取り出し、洗浄する

●フィルター(黒)と(緑)を逆に取り付けると、クリーンフィルターが目詰まりしやすくなります。

強めの水道水をホースに流し、内部のゴミを洗い流す。

ネット、フィルター、ストレーナを水洗いする。

ネットは歯ブラシなどで掃除する。

2 水気をふき取り、元どおり取り付ける

給水口（水道水の出が悪くなったら）

1 水栓を閉めて、給水ホースを外す

1. **水栓を閉めて 入 を押し、電源を入れる**
2. **洗濯 を押し、「標準」コースを選ぶ**
3. **スタート 一時停止 を押し、スタートする**
4. **約1分間運転し、スタート 一時停止 を押してから 切 を押す**

   外すときの水の飛び散り防ぐためです。
5. **ユニオンナットを緩め外す**

2 網にたまったゴミを、歯ブラシなどで取り除く

●ゴミが取りにくいときは、網をペンチなどで取り外して掃除する。

お手入れ

お手入れ(続き)

乾燥フィルター（乾燥フィルターは、乾燥運転を行ったあと、毎回お手入れしてください。）

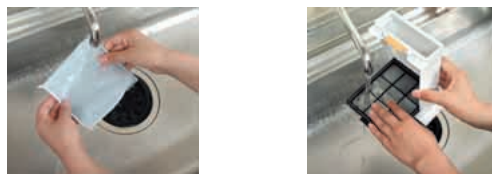
■乾燥フィルターは手でやさしく水洗いしてください。洗剤、漂白剤で洗わないでください。

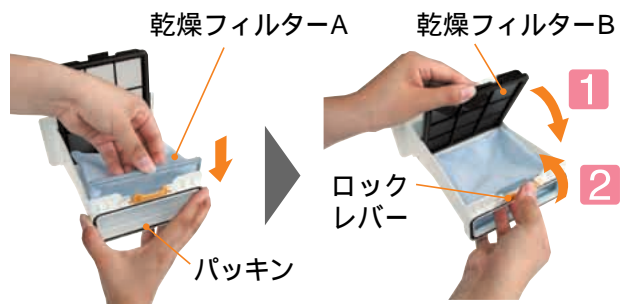
1 ツマミを左に回して、乾燥フィルターを手前に引く

2 ロックレバーを外し、乾燥フィルターBを持ち上げる

3 乾燥フィルターAの枠を垂直に引き上げ、乾燥フィルター本体から乾燥フィルターAを取り外す

4 乾燥フィルターA、Bのネットに付いた糸くずなどを、掃除機で吸い取る

汚れがひどい場合は洗い流す

●水洗いをしたあとは、十分乾燥してください。

5 乾燥フィルターAを乾燥フィルター本体に取り付け、乾燥フィルターBを閉めてロックレバーで固定する

●乾燥フィルターA、Bは必ず取り付けてください。故障の原因となります。
●パッキンが入っていることを確認してください。パッキンがないと、蒸気漏れや水漏れの原因になります。

6 乾燥フィルターを取り付ける

お願い

●乾燥フィルターは消耗品です。ネットが破れたときは、販売店でお買い求めください。
→ P.67
乾燥フィルター（部品番号 BW-D9GV-024）
●消臭効果がなくなったときは、乾燥フィルター（スーパーナノチタン消臭乾燥フィルター）を交換してください。

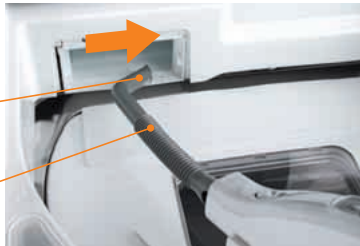
ご注意

●取り付けが不完全ですと、「C15」エラーが発生します。→ P.56
●乾燥フィルターをセットしないと洗濯も乾燥も運転しません。
●セットした後スタートすると、乾燥フィルターの点滅表示は消えます。

乾燥フィルター差し込み口（乾燥フィルター表示が消えなかったり、「C6」エラーが発生する場合）

■乾燥フィルター取り付け部の奥に糸くずが付着している可能性があります。
そのときは、付属のスイコミノズルによるお手入れをしてください。

1 乾燥フィルターを取り外す

2 スイコミノズルを掃除機の吸口に取り付ける

3 乾燥フィルター取り付け部の奥に付着した糸くずを吸い取る

ご注意 **お手入れするときは、乾燥運転後に行ってください。**
●糸くずに含まれている水分による掃除機の故障を防ぐためです。
乾燥フィルター取り付け部に手や指を入れないでください。
●取り付け内部が狭いため、怪我をする恐れがあります。

本体、洗濯・脱水槽（水滴が付いたり、汚れたら）

●本体の水滴や汚れは、柔らかい布でふき取ってください。
●ふたなどのプラスチック部品や、鋼板部品に洗剤やソフト仕上剤が付いたときも、柔らかい布でふき取ってください。放置すると傷むことや破損することがあります。
●本体各部に直接水をかけないでください。
●ベンジン、シンナー、クレンザー、アルカリ性洗剤、弱アルカリ性洗剤、ワックスなどでふいたり、たわしでこすらないでください。
●洗濯・脱水槽のさびは、市販のクリームクレンザーでふき取ってください。金属たわしなどは使わないでください。
●ステンレス槽はさびにくい性質を持っていますが、次のような場合にはさびが発生することがあります。

ヘアピンなどの洗濯・脱水槽への長時間の接触や、鉄粉や赤さびの混じった水の使用。
洗濯・脱水槽内、内ふた周辺の金属部分への塩素系漂白剤や洗剤、ソフト仕上剤の長期間放置。

内ふた（内ふたや、その周辺に糸くずなどが付いていたら）

●内ふたまわりに付いた糸くずなどは取り除いてください。
●内ふたの金属面が汚れたら、湿った布でふき取ってください。

お手入れ

故障かなと思ったら

異常報知について

次のときは、表示の点滅やブザーでお知らせします。ただし、万一の誤検知が考えられますので、一時停止か一度電源を「切」にし、再びスタートさせ、同様の異常報知がでる場合は、次の点検を行ってください。

表示とお知らせ内容	確認するところ	直しかた
C:01 給水できない	●給水経路を確認してください。 ・水栓は開いていますか。 ・水道、給水ホースが凍っていませんか。 ・断水していませんか。 ・給水口の網にごみがたまっていませんか。	一時停止する ▼ 異常を取り除く ▼ スタートボタンを押して、再スタート
排水できない	●排水ホースを確認してください。 ・排水ホースを倒していますか。 ・つぶれていませんか。 ・先端が水につかっていませんか。 ・糸くずなどが詰まっていませんか。 ・凍結していませんか。 ・途中10cm以上高くなっていませんか。 ・延長ホースが3m以上になっていませんか。	
ふたが開いている	●ふたを閉めてください。 ・洗濯・脱水槽が回転するときは安全のためふたをロックします。	閉じる ▼ 運転再開
C:04 脱水、乾燥できない	●衣類が多すぎたり、少なすぎたりしていませんか。 ・大物(シーツなど)が多い→大物を減らす。 ・衣類が少ない→バスタオルを1～2枚追加する。 ●衣類が片寄っていませんか。 ・衣類の片寄りやからみをほぐす。 ●本体ががたついていたり、傾いた床面に設置していませんか。 ●水準器の気泡が中心の丸の中にありますか。	一時停止し、片寄りを修正、または衣類を減らして、ふたを閉めスタート
一時停止が解除されない	●乾燥中に一時停止をして10分以上再スタートしない。 ・再スタートはできません。 →最初からやりなおしてください。	冷却運転終了後、ふたのロックが解除されるまで待つ (洗濯・脱水槽内の温度を下げています) ▼ 電源を切る ▼ 異常を取り除く ▼ 電源を投入し再度乾燥運転
C:06 乾燥が終わらない	●乾燥フィルターが目詰まりしていませんか。 ●洗濯物は脱水しましたか。 ●洗濯物はからんでいませんか。 ●水栓は開いていますか。 (乾燥中も冷却用の水を使用します。) ●水道、給水ホースが凍っていませんか。 ●断水していませんか。 ●給水口の網にごみがたまっていませんか。 ●排水ホースを確認してください。 ・排水ホースを倒していますか。 ・つぶれていませんか。 ・先端が水につかっていませんか。 ・糸くずなどが詰まっていませんか。 ・凍結していませんか。 ・途中10cm以上高くなっていませんか。 ・延長ホースが3m以上になっていませんか。 ●給湯接続していませんか。	
ふたのロック、解除ができない	●ふたが浮いていませんか。 →ふたをきちんと閉めてから一時停止し、再スタートしてください。	エラーが消えない場合は、修理を依頼してください
乾燥フィルターが装着されていない	●洗濯のときも乾燥フィルターを取り付けてください。 ●乾燥フィルターが装着されていますか。 ●乾燥フィルターは奥まで入っていますか。	乾燥フィルターをきちんと装着したあと、スタートボタンを押して、再スタート

表示とお知らせ内容	確認するところ	直しかた
糸くずフィルターが装着されていない	●糸くずフィルターが装着されていますか。 ●糸くずフィルターは止まるまで右方向に回してください。	糸くずフィルターをきちんと装着したあと、スタートボタンを押して、再スタート
糸くずフィルターが目詰まりしている	●糸くずフィルターが目詰まりしたまま運転していませんか。 （「糸くずフィルター」ランプが点灯した状態のまま運転をつづけるとこのエラーを表示します。）	糸くずフィルターのお手入れ → P.50
回転数があがらない	●排水ホースを確認してください。 ・つぶれていませんか。 ・先端が水につかっていませんか。 ・糸くずなどが詰まっていませんか。 ・途中10cm以上高くなっていませんか。 ・延長ホースが3m以上になっていませんか。 ●泡が多く出すぎていませんか。 →すすぎを行なってから脱水してください。	
乾燥容量オーバー	●乾燥する衣類の量を減らしてください。 ・乾燥できる衣類の量は洗濯物の種類、大きさ、布質により変わります。	一時停止し、衣類を減らして、ふたを閉め再スタート
モータが回転できない	●洗濯物の量が多い、または泡が多く出すぎていませんか。 →洗濯物を減らしてください。 →衣類がからまっていませんか。 →洗剤を入れすぎていませんか。 ●電圧が低下していませんか。 →電源コードを延長していませんか。 →同じコンセントに他の機器を接続していませんか。	一時停止し、衣類を減らして、ふたを閉め再スタート エラーが消えない場合は、修理を依頼してください
糸くずフィルター	●糸くずフィルターが目詰まりしていませんか。 →糸くずフィルターの中にゴミがなくても、ネットが目詰まりしている場合があります。 ●洗濯コースまたは洗乾コースを30回運転した場合に点灯します。	糸くずフィルターのお手入れ → P.50
乾燥フィルター	●乾燥フィルターが目詰まりしていませんか。	乾燥フィルターのお手入れ → P.54

●これら以外の異常報知(F○○、C○○)の表示が出た場合は、外来ノイズなどの影響でセンサーが正しく検知できないことがあります。電源を一度切り、もう一度やり直してください。それでも同じ表示がでたときは、使用を中止し修理を依頼してください。

●乾燥時間は目安であり、衣類の種類により表示が異なります。
例えば、残時間表示「20分」または「30分」で約1時間～2時間程度待機することなどがあります。
(規定の乾き具合になるまでセンサーで検知し、運転を継続しているためです)
●「C19」表示の容量オーバーは衣類の量で検知しています。
衣類の質によっては規定容量以下でも表示することがあります。
●「F17」が表示されたときは循環ポンプ故障です。修理を依頼してください。
ただし、そのまま運転できますが、高い水位での運転となり衣類の量に関係なく水位、水流は一定です。
（循環ポンプは動作しません）
スタートボタンを押したあとは、洗剤量が表示されず残時間が表示されます。
(各行程の変更はできません)
●衣類をほぐして再スタートしても、「C20」表示が何度も表示されるときは、使用を中止して修理を依頼してください。
●冷却運転中は、電源ボタンの「切」以外は受け付けません。また、冷却運転中に電源を切り、再び電源を入れた場合、冷却運転を継続することがあります。
●「糸くずフィルター」のランプが点灯している状態で運転した場合、スタートのあとにすすぎの変更はできません。

故障かなと思ったら(続き)

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください

こんなときには	ここを確認してください
残時間表示 ●時間が変わる ●実際の運転時間と異なる ●時間が減らない	●残時間は運転途中に補正しながら表示するので、途中で表示が変わります。 ●ホット高洗浄や温度センサー制御の機能が働いている場合には、自動で運転時間を延長する場合があります。 ●表示の時間はあくまで目安時間のため、洗濯物の布質、大きさ、気温、水温などの運転状態によって変化するので、実際の時間とは異なります。 ●あと「20分」や「30分」と表示されてから、1～2時間程度待機することがあります。 →規定の乾き具合になるまでセンサーで検知し、運転するためです。
洗剤 ●衣類に洗剤が残る ●洗剤ケースや洗濯・脱水槽に洗剤が溶け残る	●洗剤は必ず洗剤投入ケースに入れてください。 →直接洗濯・脱水槽に投入すると、溶け残りが生じることがあります。 ●洗剤を入れすぎていませんか。 →洗剤量については → P.18、19 ●銘柄によっては、水温が低いときに溶けにくいことがあります。 ●粉石けん(天然油脂)は十分に溶かしたあと、洗濯・脱水槽に入れてください。 ●気になる場合は、「ため洗い」コースをご使用ください。
洗い ●汚れが落ちない	●衣類の量を減らしたり、「ホット高洗浄」を設定したり「念入り」「つけおき」コースで運転してください。洗剤は必ず洗剤投入ケースに入れてください。 ●泥汚れや食べこぼしなどの固形の汚れの場合には、あらかじめ前処理をしていただくか「ため洗い」コースを使用してください。
ホット高洗浄 ●ホット高洗浄できない ●運転中に排水する	以下のような場合にはホット高洗浄はお使いいただけません。 ・洗濯物の量が約2kg以下の場合 ・予約運転の場合 ・あらかじめ洗濯・脱水槽内に水(約3L以上)を入れた場合。 ●コースによっては設定できません。 ●温度調整のために洗濯液の一部を排水することがあります。
乾燥 ●乾燥時間が長い ●乾きムラがある	●乾燥フィルターが目詰まりしていませんか。 ●洗濯物は脱水しましたか。 ●洗濯物はからんでいませんか。 ●水栓は開いていますか。 ●水道、給水ホース、排水ホースが凍っていませんか。 ●断水していませんか。 ●給水口の網にごみがたまっていませんか。 ●排水ホースを確認してください。 ・排水ホースを倒していますか。 ・つぶれていたり、糸くずなどが詰まっていませんか。 ・先端が水につかっていませんか。 ・糸くずなどが詰まっていませんか。 ・途中10cm以上高くなっていませんか。 ・延長ホースが3m以上になっていませんか。 ●室温が5℃以下、または30℃以上のときは、乾燥時間が長くなります。 ●水温が30℃以上のときは、乾燥時間が長くなります。

■電源オートオフについて

●運転が終了すると、自動的に電源が切れます。
●次の状態で1時間以上放置すると、自動的に電源が切れます。
・一時停止の状態
・ふたを開けたままの状態
・56、57ページのような異常報知状態
●電源を入れ、スタートボタンを押さないで10分放置すると、自動的に電源が切れます。

こんなときは故障ではありません

こんなときには	ここを確認してください
シワ ●洗濯シワが気になる ●乾燥シワが気になる	●洗濯物がからんでいませんか ●乾燥前に洗濯物のシワを伸ばしてください。 ●「シワガード」コースを使い、運転終了後直ぐに吊り干ししてください。 ●30分乾燥後直ぐに吊り干しをしてください。 ●洗濯物の量を少なく(約2kg)してください。
風呂水 ●風呂水吸水しない ●風呂水を選んだのに給水する ●お風呂の水があまり減らない	●スタート後、約3分間は水道水で運転します。 ●洗濯物の量が少ないとき(約2kg以下)には、風呂水を吸水しない場合があります。 ●水面から吸水口までの高さが1.2mを超えると、吸水できない場合があります。 ●クリーンフィルターにゴミなどが詰まっていませんか。 ●洗いやすすぎの初めには水道水を給水します。 ●10分たっても風呂水が吸水されない場合には、自動で水道水による運転に切り替わります。 ●ビートウオッシュは節水型のため、使用水量が少ないためです(約20L)。
糸くず ●糸くずが気になる ●衣類に糸くずが残る	●市販の「糸くず防止用」洗濯ネットをご使用ください。 ●「ためすすぎ」や「ため洗い」コースをご利用ください。 ●糸くずフィルターをお手入れしてください。 ●上記によっても改善されない場合は、内部に固形の汚れが堆積している可能性があります。「槽洗浄11時間コース」でお手入れしてください。
排水口 ●排水口が詰まる	●お使いの排水トラップの形状によっては糸くずが詰まる場合もあります。 →排水口は定期的に清掃してください(1回/月)。 ●「ため洗い」コースや「槽洗浄コース」などを運転いただくと排水口に残る糸くずなどを押し流すことができる場合があります。 ●別売りの「糸くずボックス」を販売店でお買い求めください。 →「糸くずボックス」WLB-1　希望小売価格　3,570円 → P.67
におい ●本体からにおいがする ●衣類ににおいがつく	●ご使用初期に使用中に機器(ゴムや樹脂、ワニス)などのにおいがすることがあります。 →初期的なもので10回程度ご使用になるとにおわなくなります。 ●入浴剤の入った残り湯を洗濯、乾燥に使用した場合、洗濯物ににおいがつく場合があります。 ●排水状態が悪い場合や泡の量が多すぎる場合には、運転中のモーターの温度が高くなりにおいがつよくなることがあります。 ●乾燥運転時、排水口からのにおいを吸い込み、衣類にしみつくことがあります。 →気になる場合は、別売りの「洗濯機用排水トラップ」をお買い求めください。 → P.67
音・振動 ●変わった音がする。	●本体が傾いたり、がたついたりしていませんか。 ●ヘアピンやコインなど異物がまぎれこんでいませんか。 ●運転中に「カチャ」という音や、「カツカツ」という音がする。 →クラッチの切替動作の音です。故障ではありません。 ●乾燥運転時に「ヴォー」「ピー」という音がする。 →送風ファンやモーターの運転音です。故障ではありません。 ●運転中「ピー」という音がする。 →モーターの運転音です。故障ではありません。

故障かなと思ったら(続き)

こんなときには	ここを確認してください
運転しない	●停電していませんか。 ●電流ヒューズ、ブレーカーが切れていませんか。 ●電源プラグは確実に差し込まれていますか。 ●予約にセットしていませんか。
ふたが開かない	●電源スイッチを入れてください。 →ふたをロックした状態で電源を切にすると、ふたがロックされたままになります。電源を入れるとロックを解除します。 ●脱水中は一時停止しても、洗濯・脱水槽が停止するまではふたは開けられません。 ●「高温」ランプが点灯していませんか。 →洗濯・脱水槽内が高温の場合には冷却運転が終わるまでふたのロックが解除できません。
メロディ、ブザーが鳴らない	●メロディ、ブザーを消す設定になっていませんか。
給水ホースから水漏れする	●水栓の形状は適していますか。 ●ワンタッチつぎての取付や、ユニオンナットの締め付けがゆるんでいませんか。
ブレーカが作動する	●同一配線に他の機器が接続されていませんか。 ●専用の15A以上のコンセントを使っていますか。
糸くずフィルター取り外しボタン操作後、ブザーが鳴り続ける	●排水口または排水ホースに糸くずなどが詰まっていませんか。 ●排水ホースが床面より10cm以上高くなっていませんか。
洗濯の途中で給水する	●洗濯中に水位が下がると、自動的に給水されます。
給水されない	●すすぎから始めたときは排水、脱水をしてから給水します。 ●給水経路を確認してください。→P.56
すすぎの給水中に排水する	●脱水動作中に泡が多いと検知した場合には、排水して泡を排水します。 →洗剤量を適正な量にしてください。
洗濯・脱水槽を動かすとチャプチャプ音がする	●脱水時のバランスを取るために、洗濯・脱水槽に入れてある水の音です。
乾燥運転中に「シャーッ」と音がする	●除湿乾燥用の冷却水を流している音です。
運転中に「シャーッ」と音がする	●冷却除湿水の泡を消すための水を流している音です。
洗濯運転中に「ブーン」と音がする	●循環ポンプを運転している音です。
給水時に「ポコポコ」と音がする	●風呂水ポンプ内の空気が動いている音です。
運転中に「ウィーン」「ポコポコ」と音がする	●配管内に結露した水を排水するためのポンプの音です。
運転中や一時停止中に「ブーン」と音がする	●コントロール基板を冷却するファンの音です。
給水中の給水音が大きい	●水道水圧が高いと給水音が大きくなることがあります。音が気になる場合は、水栓を絞ってお使いください。

こんなときには	ここを確認してください
脱水中に給水する	●洗濯物の片寄りを直すために運転内容を変更しています。 →片寄りが大きいと安全スイッチが働き、バランスを修正します。 ●すすぎの脱水時に安全スイッチが働くと、次のすすぎは注水すすぎに変わることがあります。
脱水回転数があがらない	●脱水を効果的に行なうためにセンサーにより回転数を制御しているためです。
ウチフタを開けた時に水が垂れる	●洗濯中に飛び跳ねた水により内ふたの内側がぬれているためです。 ●乾燥後、時間がたつと洗濯・脱水槽内の暖かい空気により、結露した水がつきます。 →運転終了後は、できるだけ早めに取り出してください。
予約時間が過ぎても運転が終了しない	●給水量が少ない場合には、仕上がり時間を越えて運転することがあります。
電源が入らない	●電源を切ってから約5秒間は、電源ボタンを受付けません。 →電源「切」を受付けたことを確認するために、約5秒間コース表示ランプを点灯します。コース表示ランプが消灯してから再度電源「入」を押してください。 ●電源を入れてから約1秒後に表示が点灯し、電源が入ります。
電源を入れると「乾燥フィルター」のランプがつく	●乾燥フィルターが目詰まりしたときは、次回の運転開始まで「乾燥フィルター」ランプが点灯します。 →スタートボタンを押すと消灯します。
乾燥フィルターが濡れている	●洗濯で風呂水や温水を利用したり、ホット高洗浄を利用すると、蒸気で乾燥フィルターが湿る場合があります。 →異常ではありません。 ●乾燥運転の途中で止めた場合や、洗濯物が完全に乾かずに終了した場合には湿る場合があります。 ●乾燥フィルターが目詰まりしていると、湿る場合があります。
洗濯・脱水槽が変色する	●水や洗剤に含まれる成分が洗濯・脱水槽の表面に付着し、酸化皮膜を形成するためです。→異常ではありません。 ●気になる場合は、市販のステンレス専用清掃剤でふき取ってください。
表示部や透明窓が曇る	●洗濯時に風呂水を利用したり、ホット高洗浄を使った場合には蒸気で曇ります。 ●乾燥中の湿気で結露します。
ソフト仕上げ剤投入口に水が残っている	●乾燥時の蒸気や乾燥終了後の結露により、水が残ることがあります。
初めて使用するときに水が残っている	●工場出荷時の性能テスト時の残水です。 →異常ではありません。
初めて使用するときに洗濯・脱水槽が濡れている	●工場出荷時の乾燥の試験を行なっているため、外気温によって結露した水分が付着した物です。 →異常ではありません。
運転途中で電源が切れる	●外来ノイズが繰返し入り、運転できない場合やモーターの温度が規定値を超えたときには安全のために電源を切断します。 ●乾燥フィルターが目詰まりしたまま乾燥運転を継続すると、運転が自動停止(オートオフ)する場合があります。

故障かなと思ったら(続き)

こんなときには	ここを確認してください
運転途中で外枠の振動が大きくなる	●洗濯中に循環ポンプが動作するタイミングで一時的に大きくなることがあります。 ●乾燥中に送風ファンの回転数を変えたときなどに大きくなることがあります。 ●脱水時の回転を段階的に上げており、変化の途中で大きくなることがあります。
運転終了後に水滴が垂れる	●運転後､給水経路に残った水滴が垂れる場合があります。 →衣類を取り出す際に、洗濯脱水槽をできるだけ揺らさないようにしてください。
運転終了後に送風ファンが動作する	●送風ファンの動作確認のために運転しています。
すすぎ動作中にすすぎの「ため」ランプが点灯する	●最終脱水時にアンバランスを検知し、バランス修正のための動作を行なったためです。
洗い動作中にすすぎの「ため」ランプが点灯する	●洗い運転中に糸くずフィルターの目詰まりを検知したため、自動的にすすぎを循環ポンプを動かさない「ためすすぎ」に変更したためです。
スタート直後、すすぎの「ため」ランプが点灯する	●糸くずフィルターの目詰まりを検知している状態で運転したためです。 ●「F17」エラーを表示したままで運転を開始した場合は、自動的に「ため」に変わります。
すすぎ回数が、設定した回数より多く運転する	●衣類の片寄りにより、安全スイッチが動作した場合、衣類の片寄りを修正するために、すすぎを追加するためです。 (残時間表示は増えてますが､すすぎ回数の表示は変わりません。) ●すすぎ行程の脱水中に、排水経路がつまりかけていたり、泡が多く出すぎている場合にすすぎを追加するためです。
予約を設定して、スタートしたときに、洗濯・脱水槽に給水する	●給水ホース内の空気を抜いているためです。水道水なので問題ありません。 (色移りしやすい衣類は、一緒に洗濯しないでください。)

もしものとき

凍結の恐れのあるとき

1 **水栓を閉める**

2 **電源を入れ、「標準」コースを選び、スタートボタンを押して運転する**

3 **洗剤量が表示されてから、給水ホースを外し、下に向ける** →P.12

●給水ホース内に付着した水滴がたれるので、給水ホースの先にバケツなどの容器を置くかぞうきんなどで水を受けてください。

4 **約1分間運転して一時停止ボタンを押す**

●給水ホース内の残水を抜きます。

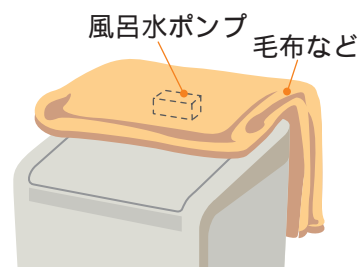
5 **お湯取ホースをセットしている場合は、浴槽からクリーンフィルター(お湯取ホース)を取り出し、吸水つぎてを外す** →P.13

6 **排水ホースを排水口に差し込む**

7 **「脱水」のみを設定して、30秒ぐらい運転する** →P.38

8 **一時停止ボタンを押してから、電源を切る**

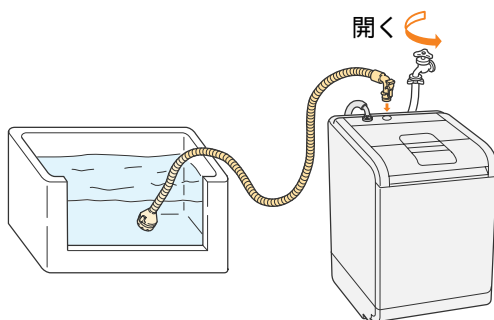
●洗濯・脱水槽と排水ホース内の水を抜き、排水バルブを開いたままにするためです。

寒冷地でのご使用など凍結の恐れのある場合は、本体のうしろ側（上部）を毛布などで保温してください。

もし凍結したときには

1 **給水ホースを外し、約40℃のお湯につける**

●お湯取ホース、クリーンフィルターも同様にお湯につけます。

2 **約40℃程度のお湯を、洗濯・脱水槽に約5L入れ、約10分間放置する**

3 **給水ホースおよびお湯取ホースをつなぎ、水栓を開ける**

4 **電源を入れ、スタートボタンを押し、放置する(給水弁を解凍します)**

●通電時の熱で給水弁が解凍され、給水しはじめます。(約20分程度)

5 **次の3点を確認する**

(1)手で洗濯・脱水槽を回せるかどうか
➡ 回せることを確認

(2)電源を入れ「脱水のみ」→P.38をスタートし、排水するかどうか
➡ 排水することを確認

(3)風呂水が吸水されるかどうか
➡ 吸水することを確認

風呂水ポンプの解凍には、時間がかかる場合があります。吸水できないまま運転した場合は、自動的に水道水に切り替わります。

※確認できない場合は、2～4を繰り返してください。

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は､｢お買い上げ日・販売店名｣などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

洗濯乾燥機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」→ P.65 にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

56～62ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って､販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	電気洗濯乾燥機
型　　式	BW-D9GV
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

一般家庭用以外でご使用になるとき

理容院や美容院などでタオルなどの洗濯・乾燥に、また、寮や病院などで共同でご使用になり、一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合には、短時間で部品の交換（駆動部ユニット、フィルターなど）が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてお使いになることをお勧めします。
●このようなご使用は、保証期間の対象外となります。

愛情点検

★長年ご使用の洗濯乾燥機の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？	●洗濯・脱水槽が止まりにくい。 ●水漏れがする。(ホース、水槽、給水つぎて) ●こげくさい臭いがしたり、運転中に異常な音や振動がある。 ●本体にさわるとピリピリ電気を感じる。 ●据付が傾いたりグラグラしている。 ●電源を入れても、動かないときがある。 ●タイマーが途中で止まることがある。 ●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●その他の異常・故障がある。 ●電源プラグが変形したり、電源コードにひび割れや傷がある。 ●乾燥時間が異常に長くなった。	➡	ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87

(受付時間) 365日／9:00～19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34

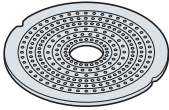
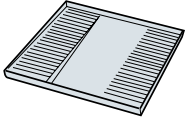
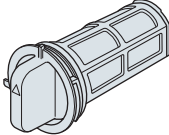
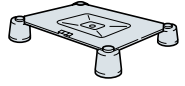
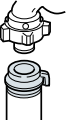
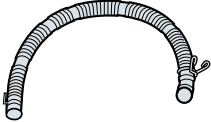
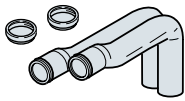
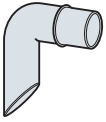
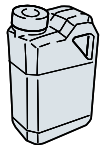
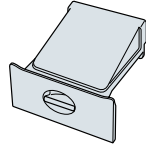
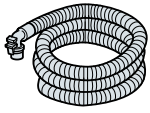
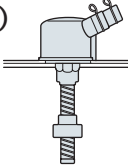
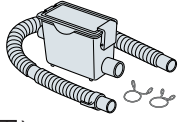
(受付時間)／9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

仕様

本　体

型　式	BW-D9GV
電　源	100V、50-60Hz共用
標準洗濯容量	9.0kg（乾燥状態での布質量）
標準脱水容量	9.0kg（乾燥状態での布質量）
標準乾燥容量	7.0kg（乾燥状態での布質量）
標準水量	35L（洗濯「標準」コース）
標準使用水量	洗濯時77L（洗濯「標準」コース） 乾燥時49L（水冷除湿用）
電動機の定格消費電力	530W（50-60Hz）
電熱装置の定格消費電力	1220W（50-60Hz）
定格消費電力	1380W(30℃)（乾燥「標準」コース）
洗濯方式	ビート式
水道水圧	0.03～0.8MPa｛0.3～8kgf/cm²｝
外形寸法	幅650mm×奥行645mm×高さ997mm
質　量	約65kg

風呂水ポンプ（本体に内蔵）

定格消費電力	55W（50-60Hz）	揚水量	毎分10L （全揚程1.2m、ホース長さ4mのとき）
定格電圧	DC 24V	お湯取ホース内径	15mm（市販のホースは使えません）
定格電流	DC 2.3A		

循環ポンプ（本体に内蔵）

定格消費電力	34W（50Hz-60Hz）	定格電流	DC 2.2A
定格電圧	DC 24V	揚水量	毎分15L

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。価格は、2007年4月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

■お洗濯キャップ（MO-F89）
希望小売価格
1,260円（税抜1,200円）

■洗濯機用トレー（YT-1）
●結露による水滴から床を守ります。
希望小売価格
7,350円（税抜7,000円）

■糸くずフィルター
（部品番号BW-D9GV-053）
希望小売価格
525円（税抜500円）

■全自動専用設置台（UP-D2）
●本体を高くするとき、および防水パンに入らないときの設置に使用します。
希望小売価格 5,250円（税抜5,000円）

■L形給水つぎて
（部品番号PF-4100-029）
●給水ホースが急に折れ曲がるような洗面台など、狭い所で使用するときに使います。
希望小売価格410円（税抜390円）

■付属ホースつぎて
（部品番号PF-4100-630）
●洗濯機専用の水栓がないとき、ワンタッチつぎてに市販のビニールホースを取り付け、庭に散水するときなどに使います。
希望小売価格630円（税抜600円）

■フィルター（緑）（黒）セット
（クリーンフィルター用）
（部品番号NW-8S3-041）
希望小売価格
315円（税抜300円）

■延長用排水ホース（約80cm）
（部品番号KW-50K1-023）
●排水ホースの延長用に使用します。
希望小売価格
840円（税抜800円）

■ストレーナ
（部品番号NW-60RS1-048）
希望小売価格
315円（税抜300円）

■直下排水Ｌ形パイプ（HO-P5）
希望小売価格
1,050円（税抜1,000円）

■ネット
（クリーンフィルター用）
（部品番号NW-7S-057）
希望小売価格
315円（税抜300円）

■640幅防水パン用直下排水キット（HO-P10）
希望小売価格
840円（税抜800円）

■ポンプフィルター
（部品番号NW-7S-052）
希望小売価格
315円（税抜300円）

■洗濯槽クリーナー（SK-1）（塩素系/1500mL）
●洗濯槽に付着した石けんかすなどを落とすときに使います。
希望小売価格 2,100円（税抜2,000円）

■乾燥フィルター
（部品番号BW-D9GV-024）
希望小売価格
1,050円（税抜1,000円）

■お湯取ホース（約7m）
（部品番号NW-9S3-028）
希望小売価格
1,890円（税抜1,800円）
●クリーンフィルターは付いていません。

■洗剤ケース
（部品番号BW-DV8E-158）
希望小売価格
1,050円（税抜1,000円）

■お湯取ホース（約4m）
（部品番号NW-9S3-031）
希望小売価格
1,260円（税抜1,200円）
●クリーンフィルターは付いていません。

■洗濯機用排水トラップ（YT-T1）
●排水口からの逆流やにおいを防ぎます。（配管工事が必要です。）
希望小売価格
4,200円（税抜4,000円）

■糸くずボックス（WLB-1）
（同梱排水ホース：長さ80cm）
●排水ホースに取り付け、洗濯・乾燥中の糸くずなどを集めて取り除きます。
希望小売価格 3,570円（税抜3,400円）

●上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

このマークは、特定の化学物質（鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB（ポリブロモビフェニル）・PBDE（ポリブロモジフェニルエーテル））の含有率が基準値以下であることを示しています。
（規定の除外項目を除く）
JIS C 0950

詳しい環境情報は、当社のホームページでご覧いただけます。http://www.hitachi-ap.co.jp/company/environment/kankyo/

お客様メモ

後日のためにご記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名 **電話（　　）　-**

ご購入年月日 **年　　月　　日**

廃棄時にご注意ください。

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯乾燥機を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

日立アプライアンス株式会社

〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話（03）3502-2111

3-L2795-1B
C7（C）

3-K1281-7F

BW-D9GV